

(様式第 10)

信大病総第 6 1 5 4 号
平成 2 8 年 1 0 月 4 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人 信州大学長 濱田 州博 (印)

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号	電話(0263) 35 - 4600
-----------------------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
1 呼吸器・感染症・アレルギー内科 2 循環器内科 3 消化器内科 4 血液内科	
5 腎臓内科 6 糖尿病・内分泌内科 7 脳神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 移植外科 3 小児外科 4 乳腺・内分泌外科 5 心臓血管外科 6 呼吸器外科 7 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	0床	0床	0床	667床	707床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	301人	170.9人	471.9人	看 護 補 助 者	40人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	10人	7.4人	17.4人	理 学 療 法 士	17人	臨床検査技師	62人
薬 剤 師	48人	0人	48.0人	作 業 療 法 士	11人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	60人	1.6人	61.6人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	656人	9.5人	665.5人	臨 床 工 学 士	12人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	2人	0人	2.0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	45人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	184人
管理栄養士	6人	0.5人	6.5人	診 療 放 射 線 技 師	37人	そ の 他 の 職 員	28人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数 (後日、連絡します)

(平成28年9月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	40人	眼 科 専 門 医	14人
外 科 専 門 医	31人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	18人
精 神 科 専 門 医	11人	放 射 線 科 専 門 医	31人
小 児 科 専 門 医	34人	脳 神 経 外 科 専 門 医	14人
皮 膚 科 専 門 医	18人	整 形 外 科 専 門 医	32人
泌 尿 器 科 専 門 医	9人	麻 酔 科 専 門 医	10人
産 婦 人 科 専 門 医	13人	救 急 科 専 門 医	16人
		合 計	291人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (本郷 一博) 任命年月日 平成 26 年 4 月 1 日

平成20年4月1日～平成26年3月31日：医療安全管理室長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	570.1人	10.2人	580.3人
1日当たり平均外来患者数	1457.2人	69.4人	1526.6人
1日当たり平均調剤数	900.4 剤		
必要医師数	145 人		
必要歯科医師数	2 人		
必要薬剤師数	20 人		
必要（准）看護師数	342 人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要
集中治療室	371 m ²	鉄筋コンクリート	病床数 10 床 心電計 有 人工呼吸装置 有 心細動除去装置 有 その他の救急蘇生装置 有 ペースメーカー 有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 357m ² [移動式の場合] 台数 6台		病床数 28 床
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 116m ² [共用室の場合] 共用する室名 服薬指導室		
化学検査室	508 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置
細菌検査室	128 m ²	〃	(主な設備) Anoxomat Mark II (細菌診断装置)
病理検査室	232 m ²	〃	(主な設備) 凍結組織切片作製装置
病理解剖室	145 m ²	〃	(主な設備) 写真撮影器具
研究室	241 m ²	〃	(主な設備) なし
講義室	949 m ²	〃	室数 10 室 収容定員 404 人
図書室	88 m ²	〃	室数 1 室 蔵書数 6,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	77.4%	逆紹介率	52.4 %
算出根拠	A：紹介患者の数	12217 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9251 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1442 人	
	D：初診の患者の数	17643 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照」

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照」

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
骨髄細胞移植による血管新生療法	0人
神経変性疾患の遺伝子診断	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	73人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	膵石症に対するESWL(体外衝撃波結石破砕術)	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 膵石はその性状から内視鏡的な破砕が困難であり、除去に難渋する症例が多い。ESWLは比較的安全に砕石が可能であり、当科での主膵管内結石除去成功率は70%と有効な治療法の一つである。ESWLの有効性の評価とより有効な治療法(ESWLの使用法・他治療との組み合わせなど)の検討のため、対象症例の治療とデータの蓄積・検討を進めている。			
医療技術名	全身性ALアミロイドーシスに対する化学療法(自己末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を含む)	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 全身性ALアミロイドーシスの原因である骨髄中の異常形質細胞を標的とした化学療法であり、2001年に本邦においては当科で先駆的に開始され、以後も継続的に行い、本邦をリードしている。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまではリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			
医療技術名	血管奇形に対する画像誘導下経皮的硬化療法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 皮膚や筋肉、軟部組織における血管奇形に対して、CT等下に病変を穿刺。硬化剤として無水エタノールを注入する治療である。			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 肝臓は非常に複雑な機能を持っており、腎臓の悪い患者に対する透析のように機械での代替は難しく、肝臓本来の機能が低下していけば患者はいずれ死亡してしまう。肝移植は、患者の機能を失ったあるいは低下した肝臓を健康な肝臓と交換することにより、患者の命を救うことができる。生体肝移植は、生体ドナーから肝臓の一部を提供してもらい、患者に肝移植を行う。			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝臓は非常に複雑な機能を持っており、腎臓の悪い患者に対する透析のように機械での代替は難しく、肝臓本来の機能が低下していけば患者はいずれ死亡してしまう。肝移植は、患者の機能を失ったあるいは低下した肝臓を健康な肝臓と交換することにより、患者の命を救うことができる。脳死肝移植は、脳死者から提供された肝臓を移植する。			
医療技術名	心筋症に対する補助人工心臓	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 心筋症における末期心不全において補助人工心臓を用いて補助を行う。			

医療技術名	ロボット支援下肺葉切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 ロボット支援(ダヴィンチ)を用いた肺癌に対する肺葉切除術			
医療技術名	ロボット支援下胸腺摘除術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ロボット支援(ダヴィンチ)を用いた前縦隔腫瘍(重症筋無力症を含む)に対する胸腺摘除術			
医療技術名	脳幹部病変の外科治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 頭蓋底外科技術を用い、脳幹病変の摘出行う			
医療技術名	バルベルト緑内障インプラント手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 難治性緑内障に対する眼圧降下手術			
医療技術名	Electro Acoustic Stimulation	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 低音部の残存聴力を活用可能な新しいコンセプトの人工内耳(残存聴力活用型人工内耳)			
医療技術名	ロボット補助下子宮全摘術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ダ・ヴィンチを用いた子宮全摘術			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術は、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	反回神経機能測定	取扱患者数	42人
当該医療技術の概要 甲状腺手術時には、手術操作により反回神経が損傷し、声帯麻痺による嘔声や呼吸困難が生じることがある。術中の反回神経損傷の早期検出のために、大脳皮質運動野を刺激し、声帯の運動を評価する。			
医療技術名	脊髄刺激電極	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 通常の治療にて対応が難しい、難治性の腰下肢痛、上肢痛に対して施行する。脊髄硬膜外腔に入れた電極から、脊髄神経を電気刺激することで、除痛を図る方法である。			
医療技術名	Racz カテーテル硬膜外神経根形成術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 通常の治療で対応困難な神経根症に対して施行する。透視下に、癒着した神経近傍にカテーテルを進め、薬液を集中投与することにより、化学・機械的に癒着剥離を行う方法である。			
医療技術名	心停止に対する体外式心肺補助(ECPR)法	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 心停止患者で通常的心肺蘇生法にて蘇生不可能な症例に対して人工心肺装置を用い体外循環にて循環及び呼吸管理を行う。			
医療技術名	低酸素性重症呼吸不全に対する一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 低酸素性重症呼吸不全に微量の一酸化窒素(NO)吸入を行う方法である。NO濃度は1~20ppm程度である。			
医療技術名	体外式補助人工心臓(VAD)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 心不全に対する心移植までのブリッジング治療			

医療技術名	超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に膵嚢胞を穿刺し、ドレナージチューブを留置する。			
医療技術名	内視鏡的膵嚢胞壊死組織除去術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 経胃膵嚢胞ドレナージチューブ刺入部を拡張し、同部より膵嚢胞内へ内視鏡を挿入して、膵嚢胞内の壊死物質を除去する。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	90人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	自閉症の次世代シーケンス解析	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 自閉症患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、自閉症関連の80種の遺伝子解析を行っている。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	0
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	0
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	1
4	原発性側索硬化症	4	59	拘束型心筋症	15
5	進行性核上性麻痺	0	60	再生不良性貧血	0
6	パーキンソン病	4	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	0	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	88
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	1
9	神経有棘赤血球症	49	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	48	65	原発性免疫不全症候群	0
11	重症筋無力症	27	66	IgA腎症	0
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	6
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	0	68	黄色靭帯骨化症	2
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	0	69	後縦靭帯骨化症	6
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	18
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	0
17	多系統萎縮症	0	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	0	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	0
21	ミトコンドリア病	0	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	0	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	149
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	0	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	31
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	0
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	16
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	2
34	神経線維腫症	0	89	リンパ脈管筋腫症	12
35	天疱瘡	0	90	網膜色素変性症	1
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	92	特発性門脈圧亢進症	18
38	ステイヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	0
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	0	95	自己免疫性肝炎	18
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	0
42	結節性多発動脈炎	1	97	潰瘍性大腸炎	23
43	顕微鏡的多発血管炎	0	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	12
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	81	101	腸管神経節細胞減少症	8
47	パージャール病	0	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	11
49	全身性エリテマトーデス	0	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	5	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	60	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	0	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	0	108	TNF受容体関連周期性症候群	230
54	成人ステル病	0	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	31	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	24
113	筋ジストロフィー	0	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	15
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	14
120	遺伝性ジストニア	90	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	79	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	48	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	8
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	7
132	先天性核上性球麻痺	6	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	13
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	55
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソス症候群	13
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	1	196	ヤング・シンプソン症候群	53
147	早期ミオクロニー脳症	78	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	6
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	44	201	アンジェルマン症候群	20
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	3
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	28
155	ランドウ・クレフナー症候群	16	205	脆弱X症候群関連疾患	65
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	43	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	90	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	1
217	エプスタイン病	38	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	11	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	271	強直性脊椎炎	0
224	紫斑病性腎炎	16	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	4	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	59	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	2	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	6	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	2	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	80	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	3	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	50	294	先天性横隔膜ヘルニア	4
247	イソ吉草酸血症	50	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	29	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	1	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	1	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	1	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウルジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・特定集中治療室管理料
・歯科外来診療環境体制加算	・ハイケアユニット入院医療管理料
・歯科診療特別対応連携加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・特定機能病院入院基本料	・新生児治療回復室入院医療管理料
・超急性期脳卒中加算	・小児入院医療管理料4
・診療録管理体制加算	・
・医師事務作業補助体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・データ提出加算	・
・退院支援加算	・
・精神疾患診療体制加算	・
・地域歯科診療支援病院入院加算	・
・救命救急入院料	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・糖尿病合併症管理料	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・がん患者指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・外来緩和ケア管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・移植後患者指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・糖尿病透析予防指導管理料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・院内トリアージ実施料	・網膜再建術
・外来放射線照射診療料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ニコチン依存症管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1及び又は乳がんセンチネルリンパ節加算3を算定する場合に限る。)
・薬剤管理指導料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・医療機器安全管理料1	・磁気ナビゲーション加算
・医療機器安全管理料2	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料(歯科)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・持続血糖測定器加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・遺伝学的検査	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・補助人工心臓
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)

・検体検査管理加算(Ⅳ)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・遺伝カウンセリング加算	・体外衝撃波胆石破砕術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下肝切除術
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・生体部分肝移植術
・胎児心エコー法	・同種死体肝移植術
・ヘッドアップティルト試験	・体外衝撃波膝石破砕術
・人工膵臓検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・皮下連続式グルコース測定	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
・神経学的検査	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・補聴器適合検査	・同種死体腎移植術
・ロービジョン検査判断料	・生体腎移植術
・コンタクトレンズ検査料	・膀胱水圧拡張術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・センチネルリンパ節生検(片側)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・画像診断管理加算2	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・輸血管理料Ⅰ
・CT撮影及びMRI撮影	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・冠動脈CT撮影加算	・自己生体組織接着剤作成術
・外傷全身CT加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・心臓MRI撮影加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・歯周組織再生誘導手術
・外来化学療法加算1	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・無菌製剤処理料	・麻酔管理料(Ⅰ)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・放射線治療専任加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・外来放射線治療加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・高エネルギー放射線治療
・がん患者リハビリテーション料	・1回線量増加加算

・歯科口腔リハビリテーション料2	・強度変調放射線治療 (IMRT)
・通院・在宅精神療法	・画像誘導放射線治療加算
・精神科作業療法	・体外照射呼吸性移動対策加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・定位放射線治療
・医療保護入院等診療料	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・人工臓器療法	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・CAD/CAM冠	・病理診断管理加算
・歯科技工加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
CNTを応用した高機能生体材料創製のためのCNT・生体界面技術の構築と安全性評価	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体工医学部門	3,770,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
多能性幹細胞を用いた新規副次肝作成技術開発—腸管の肝臓化—	佐々木 克典	医学部 組織発生学	17,030,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
運動+乳製品摂取の生活習慣病・熱中症予防効果:遠隔型大規模研究体制の確立	能勢 博	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門(スポーツ医科学教室)	20,930,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
パイオインフォマティクスを用いたNav1.7阻害剤の創薬による新たな鎮痛戦略	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	11,050,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子解析に基づいた難聴発症メカニズムの解明および個別化医療システムの構築	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	17,810,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
広角映像を用いた自動車運転認知行動評価の研究	小林 正義	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	390,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
急性痛は慢性痛化するか:遷延性術後痛のメカニズム	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	75,879	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Neurexinの結合特異性を操作したマウスを用いた自閉症の分子経路の解明	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	5,720,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Neurexinの結合特異性を操作したマウスを用いた自閉症の分子経路の解明	田淵 克彦	医学部 分子細胞生理学	2,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小脳神経回路網形成の分子基盤の解明	植村 健	医学部 分子細胞生理学	4,160,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
LOX-1結合分子群による病的血管機能誘導メカニズムの解明	沢村 達也	医学部 生理学	4,940,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌における新規癌遺伝子lipocalin2を標的とした治療法の開発	宮本 強	医学部附属病院 産科婦人科	4,680,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
サイクリンAを標的とした子宮内膜癌治療薬の開発:新規化合物の機能解析と改良	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	5,460,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
伝播現象から見たアミロイドーシスの実験病理学的把握と予防・治療法の開発	樋口 京一	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 加齢生物学教室	5,200,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
次世代遺伝子改変技術を応用した炎症性腸疾患におけるR2・R3の機能関連の解明	桜井 敬之	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	7,020,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
移植免疫寛容型長寿モデルにおけるiPS細胞を用いた心筋再生療法の開発	柴 祐司	医学部附属病院 循環器内科	5,330,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
臓器間連携と恒常性を司る、新しい生体内情報制御システムの解明と応用展開	新藤 隆行	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	5,330,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規ペプチドを用いた胆管癌治療法の開発	宮川 眞一	医学部 外科学第一	3,120,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経難病患者の移動支援ロボティクス・ウェアの開発	吉田 邦広	医学部 神経難病学講座(内科学第三)	4,940,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
セントラルコマンドと運動習慣の定着率:環境・遺伝因子の解明	増木 静江	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門(スポーツ医科学教室)	7,800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
スルホムチンを介する新規胃癌発生メカニズムの解明	中山 淳	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 分子病理学教室	6,890,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
DMDエクソン46-55欠失iPS細胞を用いたエクソン45スキップ治療の検討	中村 昭則	医学部附属病院 難病診療センター(内科(3))	6,890,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ゲノム修復とiPS細胞技術を併用した先天性食細胞異常症に対する遺伝子治療法の開発	小池 健一	医学部 小児医学	5,590,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

脂質異常症の予防と治療のための短期軽度カロリー制限と運動処方分子メカニズム	澤下 仁子	バイオメディカル研究所 神経難病学部門(加齢生物学教室)	970,455	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
認知症を合併した脳卒中患者のADLおよびライフスタイルに関する予後調査	務臺 均	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児喘息患者におけるゲノムDNAメチル化異常の実態調査	堺 温哉	医学部 衛生学公衆衛生学	674,727	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
mTOR関連細胞生存シグナルの制御による慢性閉塞性肺疾患発症およびその機序の解明	安尾 将法	医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科	400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
婦人科悪性腫瘍に対する新規治療法の開発:子宮平滑筋肉腫の生物学的応答性の解析	林 琢磨	医学部 免疫制御学	790,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ナノマテリアルに対する特異的受容体の同定	薄井 雄企	医学部附属病院 整形外科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
運動療法によって変動するエピジェネティック分子の網羅的解析と予防医学の意義	橋本 繁成	医学部 分子細胞生理学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト胎児肝細胞を用いた胎児毒性評価系の構築と分子毒性基盤	山折 大	医学部附属病院 薬剤部	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
シュワン細胞の膜骨格構造における蛋白複合体の解析	寺田 信生	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
PPAR α 活性化による腎実質細胞保護を目的とした新たな慢性腎臓病治療法の開発	上條 祐司	医学部附属病院 血液浄化療法部(内科(2))	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脂肪細胞におけるAM-RAMP2系の病態生理学的意義の解明と治療標的への展開	神吉 昭子	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
エーラスダンロス症候群・新規病型の臨床的および分子遺伝学的探索	古庄 知己	医学部附属病院 遺伝子診療部	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎のDNAメチレーション異常についての検討	上原 剛	医学部 病態解析診断学	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性トキソプラズマ症に対するex vivoパルス自己樹状細胞ワクチンの導入	青才 文江	医学部 病理学	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
共刺激分子による抗腫瘍免疫反応の機能解析とがんワクチンへの応用	辛 太廣	医学部 免疫制御学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血漿および関節液中のシトルリン化フィブリノゲンおよびその抗体定量法の確立	寺澤 文子	医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
続発性不妊、分娩後の月経発来、次子妊娠希望の背景因子に関する研究	金井 誠	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
HBe抗原陰性慢性肝炎の病態と発症予測	田中 榮司	医学部 内科学第二	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
タバコ抽出液によるラット肺気腫モデルにおける薬剤の抑制効果の検討	花岡 正幸	医学部 内科学第一	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
家族内発症頻発地域における筋萎縮性側索硬化症の網羅的遺伝子解析と臨床病理学的検討	日根野 晃代	医学部附属病院 内科(3)	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
FAPにおける低分子薬剤のアミロイド線維沈着抑制機序の解明と根治治療への応用	矢崎 正英	バイオメディカル研究所 神経難病学部門(内科第三)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
KATP非依存性経路とインクレチン相互作用によるインスリン分泌機構の解明	駒津 光久	医学部 内科学第四	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アレルギー疾患におけるサイトカイン受容体小胞輸送と受容体遺伝子多型	竹下 敏一	医学部 免疫・微生物学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
EGFR阻害剤による皮脂腺細胞の変化と治療薬探索モデルの構築に関する研究	宇原 久	医学部 皮膚科学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
環境化学物質レセプター-AhRによる皮膚炎誘導のメカニズムの解析	小川 英作	医学部 皮膚科学	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Notchシグナルがメラノーマで果たす役割の解明と治療への応用	木庭 幸子	医学部附属病院 皮膚科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
甲状腺未分化癌の分子標的開発に向けたEpCAMの機能解析	伊藤 研一	医学部 外科学第二【乳腺内分泌・呼吸器外科学部門】	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

肝幹細胞を用いたインスリン産生細胞分化誘導による膵切除後内分泌機能不全治療戦略	小林 聡	医学部 外科学第一	650,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳動脈の機能障害と攣縮に対するマグネシウムの拡張作用の解析	村田 貴弘	医学部 脳神経外科学	390,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
次世代脳動脈瘤クリップ開発への基礎研究 -クリップ閉塞された動脈瘤の変化-	堀内 哲吉	医学部 脳神経外科学	1,430,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
カーボンナノチューブによる骨芽細胞の石灰化促進メカニズムの解明	羽二生 久夫	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	780,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
外尿道括約筋筋膜欠損モデルを用いた細胞シート移植による尿失禁治療の検討	加藤 晴朗	医学部附属病院 泌尿器科	1,430,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
画像解析に基づいたメニエール病患者の新規診断法の確立と遺伝子解析	福岡 久邦	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
KCNQ4遺伝子変異による難聴のデータベース構築と発症機序に関する研究	西尾 信哉	医学部 耳鼻咽喉科学	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
嗅覚器及び嗅球の神経細胞数のステレオロジーを用いた定量解析	川岸 久太郎	医学部 人体構造学	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
医療的ケアを必要とする子どもの療養行動獲得支援の評価と普及に向けた研究	平林 優子	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	2,470,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
伝統食の生理機能顕在化とヒトにおける長期的な機能評価法確立のための基盤研究	横山 忠幸	医学部 メディカル・ヘルスイノベーション講座	2,860,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
聴覚刺激の弁別選択によるP300型脳波応用支援システムの構築	千島 亮	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	1,300,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経・筋接合に必須のレセプター蛋白LRP4の脳中枢神経系における役割	棚橋 浩	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 神経可塑性学教室	1,820,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
インフラマソーム構成分子ASCによるがん細胞の転移制御機構の解明	藤井 千文	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門(分子腫瘍学教室)	1,690,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト暑熱馴化後における皮膚血管拡張反応亢進のメカニズムの解明	上條 義一郎	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門(スポーツ医科学教室)	1,430,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
新しい血管・リンパ管制御システムに基づく、癌の革新的な医薬基盤の構築	新藤 優佳	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
前立腺癌の神経周囲浸潤におけるジストログリカン糖鎖の発現意義	下条 久志	医学部 病理組織学	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
国際認証を踏まえたカリキュラム改正が学生の学力や態度に与える影響	森 淳一郎	医学部 医学教育学講座	650,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
質量分析によるヒト脂質プロファイル検査法の構築と臨床応用	日高 宏哉	医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学	1,300,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝硬変を引き起こすフィブリノゲン低下症の鑑別法の開発と分子生物学的発症機序解明	奥村 伸生	医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学	1,820,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮頸部固有上皮型腺癌、胃腸型腺癌、前癌病変の病理診断基準と検査診断法の開発	太田 浩良	医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学	1,690,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
オフセット印刷工程の生体影響評価のための疫学調査研究	塚原 照臣	医学部 衛生学公衆衛生学	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
電子カルテ閲覧行為の業務関連度を示す定量的指標の作成	濱野 英明	医学部附属病院 医療情報部(内科(2))	1,430,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
手術部ビッグデータの解析による合併症予防と医療費削減のレジームの構築	浦田 浩一	医学部附属病院 手術部(外科(1))	1,170,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
全エクソシーケンスによる自己免疫性肝疾患の原因となる新規遺伝子の同定	梅村 武司	医学部 内科学第二	2,470,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規発症した高度左室駆出率低下患者に対するβ遮断薬治療後の反応の予測	小山 潤	医学部 内科学第五	1,040,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金
脂肪組織由来幹細胞を用いた新規血管新生療法の開発	池田 宇一	医学部 内科学第五	1,560,000	(補 委)	日本学術振興会 科学研究費補助金

左室駆出率が保持された心不全患者の予後予測指標としての左心房機能の役割	元木 博彦	医学部附属病院 循環器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
マイクロアレイおよび次世代シーケンスを用いた知的障害原因遺伝子の探索	高野 亨子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性急性骨髄性白血病に対するFLT3を標的とした遺伝子改変T細胞療法の開発	中沢 洋三	医学部附属病院 小児科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
若年性骨髄単球性白血病の治療層別化を目指した白血病性幹細胞の網羅的遺伝子解析	坂下 一夫	医学部附属病院 小児科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児期の慢性消化管炎症から消化器癌への進展に関するDNAメチル化異常の解析	杉山 佳子 (中山佳子)	医学部附属病院 小児科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
表皮再生におけるNotchシグナルの変化の解析と治療への応用	奥山 隆平	医学部 皮膚科学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血液循環腫瘍DNAを用いたメラノーマ患者の遺伝子解析	芦田 敦子	医学部 皮膚科学	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Nrf2経路を活性化した凍結保存臍島の移植への利用法の確立	増田 雄一	医学部附属病院 卒後臨床研修センター	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
くも膜下出血後の脳血管攣縮に対する予防薬・治療薬の可能性	諸 真人	医学部附属病院 脳神経外科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
思春期特発性側弯症患者に対する後方矯正固定術に必要なスクリューの数の最適化	高橋 淳	医学部附属病院 整形外科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
開腹術後痛が遷延化する機序と鎮痛法に関する研究	田中 聡	医学部 麻酔蘇生学	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
中腎管コンピテンス維持におけるFgf9/Sox9発現機構と間葉シグナル動態	城倉 浩平	医学部 組織発生学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自家骨髄幹細胞・脂肪組織由来幹細胞を利用した細胞シートを用いた下部尿路再生療法	石塚 修	医学部 泌尿器科学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
KCNQ4遺伝子変異による高音障害・血形難聴発症メカニズムに関する研究	内藤 武彦	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
上眼瞼ミューラー筋の構造的特徴と刺激伝達機能に関する組織化学的研究	杠 俊介	医学部 形成再建外科学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
腱膜性眼瞼下垂の手術で三叉神経固有感覚の誘発の減少による睡眠障害治療効果の研究	松尾 清	医学部 形成再建外科学	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞におけるグリコーゲン代謝の解明	栗田 浩	医学部 歯科口腔外科学	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経難病療養者に対するモバイル電子端末を用いた在宅チームケアに関する研究	高橋 宏子	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	3,250,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
微小重力環境が内耳末梢前庭器に及ぼす影響に関する研究	工 穰	医学部 耳鼻咽喉科学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
環状オリゴ糖を用いた新しい放射性ヨウ素回収・保持システム開発に向けた基礎的研究	廣田 昌大	ヒト環境科学研究支援センター 放射性同位元素利用部門	2,730,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒト多能性幹細胞におけるMBTFファミリーの役割	友常 大八郎	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門(組織発生学)	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
嗅覚神経系の3つの階層におけるニューロン総数と嗅覚機能の定量解析	森泉 哲次	医学部 人体構造学	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経変性疾患: 特異的異常蛋白はシナプスを越えるのか	小柳 清光	医学部 神経難病学講座	3,380,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
PSD局在性核移行タンパク質を介したシナプス-核シグナリングの解析	鈴木 龍雄	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 神経可塑性学教室	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
抗腫瘍性物質の腫瘍内持続的産生を目指す基盤研究	谷口 俊一郎	バイオメディカル研究所 先端疾患予防学部門(分子腫瘍学教室)	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
嫌気性菌ベクターを用いた虚血性心疾患に対する血管新生療法薬剤の開発	和田 有子	医学部附属病院 外科(2)	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
再生神経線維の髄鞘化誘導による機能回復効果	福島 菜奈恵	医学部 人体構造学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

硫酸化糖脂質の生成・排泄促進による新たな酸化ストレス抑制作用の解明	中島 岳郎	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 代謝制御学教室	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
RNA-FISH法による1細胞発現解析とエピジェネティックメカニズムに関する研究	涌井 敬子	医学部 遺伝医学・予防医学	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非定型T細胞および自然リンパ球の分化と機能の転写因子による制御	瀧 伸介	医学部 免疫制御学	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
治験実施のための教育からの視点に立った研究者教育の検討	松本 和彦	医学部附属病院 臨床研究支援センター	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
劣化DNA試料の分析方法の確立と鑑定精度の向上に関する研究	浅村 英樹	医学部 法医学	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
地域保健のビッグデータ解析による長野県の長寿の要因と心血管疾患リスクの解析	伊澤 淳	医学部附属病院 循環器内科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
IgG4関連呼吸器疾患のBAL液中各種メディエーターの解析	山本 洋	医学部 内科学第一	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ATTRアミロイドーシスの早期診断・治療最適化を可能にするバイオマーカーの開発	関島 良樹	医学部 内科学第三	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アグレッシブNK細胞白血病の発症関連遺伝子異常の同定と新規治療法開発	石田 文宏	医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学	2,730,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ペニシリン低感受性B群レンサ球菌の病原性に関わる荚膜多糖体の血清型変化事象の解明	長野 則之	医学部保健学科 検査技術科学専攻 病因・病態検査学	2,990,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌診断における高画質長時間分解能ダイナミックMRIの有用性に関する研究	藤永 康成	医学部附属病院 放射線部	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
組織幹細胞を用いた胆汁ドレナージシステムを有する肝臓組織構築と術後肝不全への応用	酒井 宏司	医学部附属病院 外科(1)	2,470,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
外耳道内圧脈波による非侵襲的頭蓋内圧測定法に関する研究	降旗 建治	医学部 脳神経外科学	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨に剛性が近く、かつ優れた骨形成能をもつ頸椎疾患治療用インプラント器材の開発	伊東 清志	医学部附属病院 脳神経外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
術中フリーラン筋電図定量評価と術者モニタリング間インターフェイスの確立	後藤 哲哉	医学部附属病院 脳神経外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
閉経モデルマウスを用いた狭窄性腱鞘炎の病態解析	内山 茂晴	医学部 運動機能学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性側弯症発症におけるAGBL5遺伝子の作用機序解析	中村 幸男	医学部附属病院 整形外科	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
腱細胞培養系を用いた新規マイクロRNAの同定と腱細胞分化メカニズムの解明	林 正徳	医学部 運動機能学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
局所麻酔薬の神経毒性のメカニズム: ナノ磁性体を用いた探索研究	石田 高志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性排尿障害に対する骨髄由来細胞積層型スフェロイドシートによる機能的膀胱の再生	今村 哲也	医学部 泌尿器科学	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胎児肺成熟新規診断マーカーとしての母体血中Neuregulin-1の有用性の研究	大平 哲史	医学部附属病院 産科婦人科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
婦人科悪性腫瘍に対する新規治療法の開発: 子宮間葉系腫瘍の生物学的応答性の解析	林 琢磨	医学部 免疫制御学	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜症癌化過程におけるサイトカインとミスマッチ修復異常の関与に関する研究	岡 賢二	医学部附属病院 産科婦人科	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜癌におけるSIRT1機能とSIRT1阻害薬の効果の検討	浅香 亮一	医学部附属病院 分娩部	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
分葉状子宮頸管腺過形成(LEGH)の自然史と悪性化に関わる因子の探索	高津 亜希子	医学部附属病院 産科婦人科	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子コピー数変化解析による新規難聴発症メカニズムに関する研究	茂木 英明	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
IgG4関連ミクリッツ病の眼症状の検討とウイルス検索による原因究明	黒川 徹	医学部附属病院 眼科	780,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫網膜症の分子解析とバイオマーカー探索による新しい診断法の開発	菊池 孝信	ヒト環境科学研究支援センター 機器分析部門	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

近赤外線分光法を用いた前頭葉代謝解析による高齢者の回想想起と想起刺激の効果の検討	小林 千世	医学部保健学科 看護学専攻 基礎看護学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
近赤外線分光法を用いた新生児の哺乳時における前頭葉酸素代謝と成長発達に関する解析	市川 元基	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
大学生に対するセクシャリティの発達と自尊心向上に向けた教育プログラムの開発	坂口 けさみ	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
精神攻撃性と看護に関する研究	下里 誠二	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経難病療養者のスピリチュアルケアを行うチームケアシステムに関する研究	柳澤 節子	医学部保健学科 看護学専攻 基礎看護学	754,730	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
変形性膝関節症に伴う足裏感覚の内外的アンバランスが転倒に及ぼす影響の検討	中村 幸男	医学部附属病院 整形外科	50,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
内因性酸化LDL阻害因子の同定とその動脈硬化性疾患制御機構の解明	垣野 明美	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門(生理学)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胃癌発生におけるIL-33の役割 -新規モデルマウスを用いた解析-	中山 淳	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 分子病理学教室	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
加齢による筋Caチャネルの異常が骨格筋力低下を生じる分子メカニズム	加藤 博之	医学部 運動機能学	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
蝸牛の回転ごとに発現する遺伝子スプライシングバリエーションの網羅的解析	吉村 豪兼	医学部 耳鼻咽喉科学	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
公衆衛生看護教育に有用で実践的な包括的ケースメソッドの開発と効果分析	奥野 ひろみ	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
電動アシストエルゴメーターのペダルスピードによる筋電図解析と透析患者の自覚症状	三好 圭	医学部保健学科 理学療法学専攻 応用理学療法学	520,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
大学生に向けた学部別特性を反映した「包括的性の健康学習プログラム」の構築と評価	山崎 明美	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
乳児院入所児の運動発達促進に向けた集団遊びプログラムの有効性の検討	赤羽 美和	医学部保健学科 作業療法学専攻 実践作業療法学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
シナプス形成・成熟過程における分子動態・微細構造の解析技術の開発	植村 健	医学部 分子細胞生理学	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
改良型レーザーカッターによるアミロイド物質の生体構造と機能解析	樋口 京一	大学院医学系研究科 分子細胞制御学部門 加齢生物学教室	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
体系的・多遺伝子同時改変マウス作製法開発によるアドレノメデュリンRAMP機能解明	桜井 敬之	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
多層カーボンナノチューブブロックを用いたin vitroでの骨形成再現実験	田中 学	医学部附属病院 整形外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
発現誘導システムで制御するRNA干渉を用いた糖尿病黄斑浮腫の治療	村田 敏規	医学部 眼科学	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
MRSAの地域内伝播様式の解析と早期封じ込め対策の確立	松本 剛	医学部附属病院 感染制御室(臨床検査部)	3,510,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
MRSAの空気伝播による院内感染の検討	金井 信一郎	医学部附属病院 感染制御室(医療福祉支援センター)	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性不整脈に対するiPS細胞を用いたバイオリジカルデバイスの開発	木村 和広	医学部附属病院 輸血部(循環器内科)	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小骨固定・骨移植・骨再生・エンテシス再建のためのチタンペーパーの開発	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
麻酔は術後がん再発転移に影響するか? :末梢血腫瘍DNAとバイオマーカーによる検討	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
胎盤の老化機構に関する研究	塩沢 丹里	医学部 産科婦人科学	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
知覚神経系と免疫系のクロストーク-免疫細胞に発現する痛み関連分子の役割	杉山 由紀	医学部 麻酔蘇生学	8,060,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児難病入院患者の病室外との映像コミュニケーションによる精神的支援と家族の支援	吉川 健太郎	医学部附属病院 小児科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

パーキンソン病における発症の切っ掛けと増悪:リンパ組織の役割に関する検証	鈴木 絵美 (香山絵美)	医学部 分子細胞生理学	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
サイトカイン受容体のユビキチン非依存性小胞輸送	天野 勇治	医学部 免疫・微生物学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
マクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子異常による若年性認知症の病態解明	福島 和広	医学部 在宅療養推進学講座(内科学第三)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Patient-specific iPS cell-derived vessel smooth muscle cells of DD-EDS syndrome	岳 鳳鳴	医学部 組織発生学	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
カルボニルストレス関連分子をバイオマーカーとした統合失調症の病態解明	宮下 光弘	医学部附属病院 精神科	884,601	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性疼痛患者における運動イメージ訓練による治療法の確立	坂本 明之	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	197,884	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ホスホリパーゼに注目した神経障害性疼痛の機序解明と新たな治療法の開発	井出 進	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	108,880	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮内膜症由来の卵巣癌発癌進展過程におけるlipocalin2の発現と機能の解析	山田 靖	医学部附属病院 産科婦人科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
内耳におけるグルタミントランスポータの解明と遺伝性難聴に関する研究	小口 智啓	医学部 耳鼻咽喉科学	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
突発性難聴と酸化ストレスの関係に関する検討	鬼頭 良輔	医学部 耳鼻咽喉科学	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
OTOF遺伝子変異による難聴のデータベース構築とOAE消失メカニズムの解析	鈴木 宏明	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
近赤外線を用いた吻合血管の攣縮予防に関する研究	安永 能周	医学部 形成再建外科学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
在宅重症心身障害児と母親および父親の睡眠の実態と育児ストレスに関する研究	芳賀 亜紀子	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
現代日本の生命医科学における疾患当事者の研究参画の研究	東島 仁	医学部 CITI・JAPANプロジェクト	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
閉塞性動脈硬化症に対する運動療法が酸化ストレスに及ぼす影響	山崎 佐枝子	医学部附属病院 循環器内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
包括的自動車運転関連能力評価に関する研究	佐々木 努	医学部保健学科 作業療法学専攻 実践作業療法学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
うつ病休職者に対するリワークプログラムの開発	田中 佐千恵 (福島佐千恵)	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
カゼインキナーゼ2による心筋L型Caチャネル活性制御の生理・病態生理的意義の解明	柏原 俊英	医学部 分子薬理学	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
疾患マーカーの迅速・高感度・同時多項目測定法の開発:蛍光磁性ビーズによる実現	田中 俊行	医学部 信州メディカルシーズ推進室	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
本邦での家族性地中海熱患者の臨床像と原因遺伝子(MEFV)変異の関連	岸田 大	医学部附属病院 内科(3)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
血管障害後の新生内膜肥厚形成におけるマクロファージ由来のヒアルロン酸の重要性	嘉嶋 勇一郎	医学部附属病院 救急科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
心不全におけるミトコンドリア制御・保護因子の探索と病態生理学的意義の解明	吉沢 隆浩	ヒト環境科学研究支援センター 動物実験部門	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小児脳腫瘍に対するGD2特異的キメラ抗原受容体を用いた遺伝子改変T細胞療法の開発	平林 耕一	医学部附属病院 輸血部(小児科)	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性小児急性骨髄性白血病に対するメソセリンを用いた新規細胞免疫療法の開発	柳沢 龍	医学部附属病院 小児科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
侵襲性接合菌症に対する特異的養子免疫療法の開発	重村 倫成	医学部 小児医学	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
筋ジストロフィーに対するMMP-9を標的とした新規治療法の開発	柴 直子	医学部附属病院 小児科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマにおける転写因子Runx3の働き	内山 龍平	医学部 皮膚科学	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
乳癌における3β-HSD Type1発現の臨床的意義の解析	花村 徹	医学部附属病院 外科(2)	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

多層カーボンナノチューブの関節内滑膜反応とケモカイン分泌量	野村 博紀	医学部附属病院 整形外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肉腫に対する抗がん剤複合多層カーボンナノチューブの効果	青木 薫	医学部保健学科 理学療法学専攻 応用理学療法学	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
骨芽細胞および骨肉腫における、非古典経路のWnt5aの役割の解明	岡本 正則	医学部附属病院 整形外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ANSDに対する遺伝子解析とその臨床像に関する検討	岩佐 陽一郎	医学部 耳鼻咽喉科学	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
人工内耳装用者の遺伝的背景に関する研究	宮川 麻衣子	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
老人性難聴発症に関与するSNPsの探索に関する研究	鈴木 伸嘉	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
AM-RAMP2系の脈絡膜新生血管における病態生理学的機序の解明	家里 康弘	医学部 眼科学	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
NTGマウスを用いた網膜保護、再生に関する生物学的検証	中村 朋子 (柳平朋子)	医学部 眼科学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
羊膜と口腔上皮細胞による培養上皮シート開発に関する研究	鎌田 孝広	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
口腔癌における光機能性プローブによるin vivo微小がん検出	嶋根 哲	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ASCが癌治療を変える～ASCの発現、分化のメカニズム～	伊藤 隆一	医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
正期産新生児に対する呼吸循環機能の無拘束測定方法の信頼性と有用性に関する研究	徳武 千足	医学部保健学科 看護学専攻 小児・母性看護学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
乳癌浸潤の超早期診断を目的とした次世代形態情報ビッグデータの解析	山本 陽一郎	医学部 病理組織学	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
臨床実習改革に適したブレンド型PBLの研究	清水 郁夫	医学部 医学教育研修センター	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
患者iPS細胞の遺伝子変異修復と導入による若年性骨髄単球性白血病発症機構の解析	松田 和之	医学部附属病院 臨床検査部	2,990,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
質量分析によるM.avium complexの同定および肺MAC増悪因子の検討	牛木 淳人	医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
高地肺水腫における内皮型一酸化窒素合成酵素遺伝子のシーケンス解析による病態解明	小林 信光	医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマ患者末梢血中の腫瘍循環細胞における遺伝子発現の解析	御子柴 育朋	医学部附属病院 皮膚科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマの臨床形態から治療標的となる遺伝子変異を予測する	皆川 茜	医学部附属病院 皮膚科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メラノーマの腫瘍内および腫瘍間におけるBRAF変異の多様性の解析	境澤 香里	医学部附属病院 皮膚科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
実用的な診断および薬物治療反応性評価を可能とするADHDの新規バイオマーカー探索	篠山 大明	医学部 精神医学	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
移植後拒絶反応におけるOGG1の役割	五味淵 俊仁	医学部附属病院 外科(2)	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
オキシトシンは帝王切開術後痛の回復を促進させるか？～妊婦と動物モデルによる検討	布施谷 仁志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
磁性ビーズを用いたアセトアミノフェンの鎮痛機序の解明	清澤 研吉	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
過分極活性化チャネル阻害薬であるイバプラジンの神経障害性痛に対する鎮痛効果	大田 恵理子(今井恵理子)	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
神経因性疼痛モデルマウスにおけるGGRPとアドレノメデュリンの関与	石田 公美子(松尾公美子)	医学部 麻酔蘇生学	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
麻酔薬は本当に手術痛を抑制しているのか？：侵害刺激誘発電位による検討	峰村 仁志	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
遷延性術後痛における炎症細胞浸潤の解析	吉山 勇樹	医学部附属病院 麻酔科蘇生科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

頻尿に対する新しいアプローチ:単純ヘルペスウイルススペクターを使用した遺伝子治療	横山 仁	医学部 泌尿器科学	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
低侵襲人工内耳手術が前庭機能に及ぼす影響に関する研究	塚田 景大	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新規ミトコンドリア遺伝子変異による難聴の解析と難聴発症メカニズムの解析	矢野 卓也	医学部附属病院 耳鼻いんこう科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
非侵襲的な眼球内終末糖化産物測定方法を用いた糖尿病黄斑浮腫治療効果予測方法の開発	平野 隆雄	医学部附属病院 眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
腸間膜リンパ管の脂質吸収・免疫機能を測る新たな食品機能評価方法の検証	前島 大輔	医学部 メディカル・ヘルスイノベーション講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脳虚血病態時におけるヒト中枢神経系シクロコムP450の機能解析研究	小澤 秀介	医学部附属病院 薬剤部	500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
HMG-CoA還元酵素阻害薬によるワルファリン代謝阻害の機構解析	塩澤 彩香	医学部附属病院 薬剤部	500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞表面抗原と融合遺伝子を同時に評価できる新規フローサイトメトリー法の開発	井出 裕一郎	医学部附属病院 臨床検査部	500,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
HisRSプライズバリエーションの抗Jo-1抗体に対する抗原性の検討	重藤 翔平	医学部附属病院 臨床検査部	300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
薬剤耐性Small-Colony Variants 判定法の臨床検査試薬への応用	堀内 一樹	医学部 病理組織学	400,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
再生医療等の安全性の確保等に関する法律に対応した樹状細胞製剤作製に関する検討	湯沢 美紀	医学部附属病院 先端細胞治療センター	600,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
アドレノメデュリン-RAMP2システムの病的血管新生における意義の解明	田中 愛	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	1,100,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
療育を必要とする児とその家族(父親)への支援に関する検討	石田 史織	医学部保健学科 看護学専攻 広域看護学	481,780	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
白色脂肪-褐色脂肪間の機能連携を司る、新しい生体内恒常性制御システムの解明	河手 久香	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
周産期微細脳障害による発達障害の発症予測と予防方法の開発	三澤 由佳	医学部 衛生学公衆衛生学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
科学の頑健性の分析による科学的実在論の擁護の可能性についての研究	野内 玲	医学部 CITI・JAPANプロジェクト	390,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
カルシトニン遺伝子関連ペプチドの炎症制御機構の解明と、眼内炎症疾患への応用展開	鳥山 佑一	医学部附属病院 眼科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
マウス一次視覚野に投射する視床神経細胞の多様性の解明	森 琢磨	医学部 分子細胞生理学	1,057,336	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
縮減財政時代における多職種連携教育メソッドとパフォーマンス評価指標の開発・評価	會田 信子	医学部保健学科 看護学専攻 成人・老年看護学	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
老人性難聴発症の分子機構を規定するmiRNA・標的遺伝子群の同定	野口 佳裕	医学部 人工聴覚器学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の睡眠の質に関する研究	藤本 圭作	医学部保健学科 検査技術科学専攻 生体情報検査学	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自己免疫性膵炎、IgG4関連疾患と悪性腫瘍合併に関する臨床的・免疫遺伝学的検討	川 茂幸	総合健康安全センター	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
子宮頸がんワクチン接種後の神経障害に関する治療法の確立と情報提供についての研究	池田 修一	医学部 内科学第五	4,500,000	補委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
脳腫瘍黄色腫症の実態把握と診療標準化のためのガイドライン作成	関島 良樹	医学部 内科学第三	874,000	補委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
難治性聴覚障害に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	14,355,000	補委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援の実施と評価	本田 秀夫	医学部附属病院 子どものこころ診療部	8,400,000	補委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
成人例の左室緻密化障害の全国調査	池田 宇一	医学部 内科学第五	883,000	補委	厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金

シナプス形成を誘導するタンパク質複合体の機能解析および構造解析に立脚したシナプス形成制御法の開発	植村 健	医学部 分子細胞生理学	19,500,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構 受託研究費
日本人の頭頸部癌患者におけるCetuximabを含む治療の観察研究	小岩井 慶一郎	医学部 画像医学	140,000	補 委	特定非営利活動法人 日本放射線腫瘍学 研究機構 受託研究費
市販後における重篤副作用(間質性肺炎、横紋筋融解症、重症薬疹等)の発症要因解明と安全対策に関する研究	花岡 正幸	医学部 内科学第一	450,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
生体恒常性維持・変容・破綻機構のネットワーク的理解に基づく最適医療実現のための技術創出/生理活性因子の情報制御システムに基づく革新的な医薬品の創出	新藤 隆行	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	17,940,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
生体恒常性維持・変容・破綻機構のネットワーク的理解に基づく最適医療実現のための技術創出/生理活性因子の情報制御システムに基づく革新的な医薬品の創出	村田 敏規	医学部 眼科学	2,340,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
抗血液凝固剤の探索研究ーHTSアッセイ系の確立	沢村 達也	医学部 生理学	25,138,080	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
Drug freeからHBs抗原消失を目指すB型肝炎抗ウイルス療法とこの効果を予測する新規因子の検討	田中 榮司	医学部 内科学第二	39,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
世界初・日本発のカーボンナノチューブ複合ポリエチレンソケットを使用した人工関節の実用化研究	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	35,100,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
ナノ材料の安全・安心確保のための国際先導的安全性評価技術の開発	齋藤 直人	バイオメディカル研究所 バイオテクノロジー・生体医工学部門	12,000,000	補 委	経済産業省 受託研究費
難治性ニューロパチーの非侵襲的早期診断法の開発	関島 良樹	医学部 内科学第三	400,000	補 委	国立精神・神経医療 研究センター 受託研究費
麻酔科学領域神経科学分野に関する学術研究動向	川真田 樹人	医学部 麻酔蘇生学	1,690,000	補 委	独立行政法人日本 学術振興会 受託研究費
新しい難聴遺伝子診断システムの開発および臨床応用に関する研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	11,714,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
科学的エビデンスに基づいた遺伝性難聴の治療法確立に関する調査研究	宇佐美 真一	医学部 耳鼻咽喉科学	10,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
嚥下筋活動のセンシングと嚥下補助食品への応用に関する研究	栗田 浩	医学部 歯科口腔外科学	130,000	補 委	総務省情報総合通信局 受託研究費
神経構造の評価試験	寺田 信生	医学部保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学	800,000	補 委	国立研究開発法人 国立成育医療研究 センター 受託研究費
原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・パンキングと網羅的解析	福嶋 義光	医学部 遺伝医学・予防医学	14,000,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
脂質代謝と動脈硬化・血栓の相互関係の解明 心血管疾患関連蛋白質の病態生理的意義の解明とその診断・治療への応用	沢村 達也	医学部 生理学	1,500,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究 センター 受託研究費
アドレノメデュリンによる生体内恒常性維持機構の解明と応用展開 循環器疾患に関わる生理活性ペプチドの探索・機能解析とそれに基づくトランスレシヨナルリサーチ	新藤 隆行	大学院医学系研究科 個体機能制御学部門 循環病態学教室	1,500,000	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究 センター 受託研究費
がんワクチン製造手法の確立ー高品質で低コストが実現できる培養システム	下平 滋隆	医学部附属病院 先端細胞治療センター	325,000	補 委	国立研究開発法人 科学技術振興機構 受託研究費
3軸加速速度計を用いた筋疾患の動作解析と動作支援に関する研究	中村 昭則	医学部附属病院 難病診療センター(内科(3))	800,000	補 委	国立精神・神経医療 研究センター 受託研究費

デルマタン4-O-硫酸基転移酵素-1欠損に基づくエーラスダンロス症候群の病態解明と治療法の開発	古庄 知己	医学部附属病院 遺伝子診療部	32,263,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
在宅人工呼吸器の遠隔管理システムの開発	中村 昭則	医学部附属病院 難病診療センター(内科(3))	13,806,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発/安全性と医療効率の向上を両立するスマート治療室の開発	本郷 一博	医学部 脳神経外科学	5,031,580	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 受託研究費
C18.「IL-12発現型がん治療ウイルスを用いた悪性黒色腫のウイルス免疫開発療法」	奥山 隆平	医学部 皮膚科学	47,500,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構 研究開発施設共用 等促進費補助金

計265

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Ohsaka A(1), Kato H(2), Kino	(11)Division of Blood Transfusion, Shinshu	Recommendations for the electronic pre- transfusion check at the bedside.	Blood Transfus. 2016 Mar 21:1-6.
2	Nakazawa Y(1), Matsuda K(2),	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Anti-proliferative effects of T cells expressing a ligand-based chimeric antigen	J Hematol Oncol. 2016 Mar 16;9:27.
3	Suzuki K(1), Mizutani Y(2),	(17)Shinshu University Hospital, Matsumoto,	Efficacy and Safety of Endovascular Therapy for Aortoiliac TASC D Lesions.	Angiology. 2016 Mar 15. doi:pji:
4	Shen MY(1), Chen FY(2), Hsu	(13)Department of Physiology, Shinshu	Plasma L5 levels are elevated in ischemic stroke patients and enhance platelet	Blood. 2016 Mar 10;127(10):1336-
5	Horie Y(1), Meguro A(2),	(6)Department of Legal Medicine , Shinshu	HLA-B51 Carriers are Susceptible to Ocular Symptoms of Behçet Disease and	Ocul Immunol Inflamm. 2016 Mar
6	Fuji S(1), Kim SW(1), Yano	(6)Division of Hematology, Department of Internal	A prospective multicenter study of unrelated bone marrow transplants using a	Bone Marrow Transplant. 2016
7	Shigemura T(1), Nishina S(2),	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Early detection of Rhizopus DNA in the serum of a patient with rhino-orbital-	Int J Hematol. 2016 Mar;103(3):354-5.
8	Kim SJ(1), Yoon DH(2), Jaccard	(10)Shinshu University, Matsumoto, Japan.	A prognostic index for natural killer cell lymphoma after non-anthracycline-based	Lancet Oncol. 2016 Mar;17(3):389-400.
9	Shimane T(1), Aizawa H(2),	(1)Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu	Oral cancer intraoperative detection by topically spraying a gamma-glutamyl	Oral Oncol. 2016 Mar;54:e16-8. doi:
10	Matsui S(1), Yamamoto H(2),	(2)Shinshu University School of Medicine, Japan.	Proposed diagnostic criteria for IgG4- related respiratory disease.	Respir Investig. 2016
11	Yamamoto S(1),(2), Yamaga	(1)Department of Rehabilitation, Shinshu	Association between physical performance and cardiovascular events in patients with	Syst Rev. 2016 Feb 18;5:32. doi:
12	Tanahashi H(1),(2), Tian	(1)Department of Neuroplasticity, Institute of	Polyhydramnios in Lrp4 knockout mice with bilateral kidney agenesis: Defects in	Sci Rep. 2016 Feb 5;6:20241. doi:
13	Yamaguchi A(1), Matsuda K(2),	(1)Graduate School of Science and Technology,	A novel automated device for rapid nucleic acid extraction utilizing a zigzag motion of	Anal Chim Acta. 2016 Feb 4;906:1-
14	Izumi K(1),(2), Hayashi D(1),	(6)Department of Medical Genetics, Shinshu	Discordant clinical phenotype in monozygotic twins with Alagille syndrome:	Am J Med Genet A. 2016
15	Kuraishi S(1), Takahashi J(1),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Comparison of Clinical and Radiological Results of Posterolateral Fusion and	Asian Spine J. 2016 Feb;10(1):143-52.
16	Fujihara I(1), Yanagisawa	(2)Department of Hematology/Oncology,	Thrombocytosis in a newborn with Down syndrome and transient abnormal	Br J Haematol. 2016
17	Stancel N(1), Chen CC(2), Ke	(5)Department of Physiology, Shinshu	Interplay between CRP, Atherogenic LDL, and LOX-1 and Its Potential Role in the	Clin Chem. 2016 Feb;62(2):320-7.
18	Suga T(1), Okamura T(1),	(1)Department of Gastroenterology, Shinshu	The loop-forming method as a useful technique to rotate the endoscopic	Endosc Int Open. 2016
19	Asahina Y(1), Izumi N(2),	(6)The Second Department of Internal Medicine,	JSH Guidelines for the Management of Hepatitis C Virus Infection: A 2016 update	Hepatol Res. 2016 Feb;46(2):129-65.
20	Imamura M(1), Nakamura A(2),	(2)Intractable Disease Care Center, Shinshu University	Characterization of WWP1 protein expression in skeletal muscle of muscular	J Biochem. 2016 Feb;159(2):171-9.
21	Kobayashi M(1), Yamamoto K(2),	(1)Department of Pathology, Shinshu University School	Helicobacter heilmannii-like organism in parietal cells: A diagnostic pitfall.	Pathol Int. 2016 Feb;66(2):120-2.
22	Yanagisawa R(1),(2), Noguchi	(2)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Preoperative Treatment With Pazopanib in a Case of Chemotherapy-Resistant	Pediatr Blood Cancer. 2016
23	Xu YM(1), Feng C(2), Kato H(3),	(3)Department of Urology, Shinshu University School	Long-term Outcome of Ileal Ureteric Replacement With an Iliopsoas Muscle	Urology. 2016 Feb;88:201-6. doi:
24	Shigeto S(1), Matsuda K(2),	(1)Department of Laboratory Medicine,	Rapid diagnosis of acute promyelocytic leukemia with the PML-RARA fusion gene	Clin Chim Acta. 2016 Jan
25	Sueki A(1), Matsuda K(2),	(1)Department of Laboratory Medicine,	Evaluation of saliva as diagnostic materials for influenza virus infection by PCR-based	Clin Chim Acta. 2016 Jan

26	Onozato T(1),(2),	(1)Division of Neuropathology,	Axonal TDP-43 aggregates in sporadic amyotrophic lateral sclerosis.	Neuropathol Appl Neurobiol. 2016
27	Nakamura Y(1),(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Bone alterations are associated with ankle osteoarthritis joint pain.	Sci Rep. 2016 Jan 18;6:18717. doi:
28	Ueki Y(1), Miura T(2), Miyashita	(1)Department of Cardiovascular Medicine,	Predictive Value of Combining the Ankle-Brachial Index and SYNTAX Score for the	Am J Cardiol. 2016 Jan 15;117(2):179-
29	Fujimori N(1), Tanaka N(2),	(1)Department of Internal Medicine, Division of	Controlled attenuation parameter is correlated with actual hepatic fat content	Hepatol Res. 2016 Jan 14. doi:
30	Tsutsumida A(1), Takahashi A(2),	(3)Department of Dermatology, Shinshu	Frequency of level II and III axillary nodes metastases in patients with positive	Int J Clin Oncol. 2016 Jan 13.
31	Takahara K(1), Kamimura M(2),	(7)Department of Orthopaedic Surgery,	Risk factors of adjacent vertebral collapse after percutaneous vertebroplasty for	BMC Musculoskelet
32	Joko T(1),(2), Washizuka S(1),	(1)Department of Psychiatry, Shinshu	Patterns of hippocampal atrophy differ among Alzheimer's disease, amnesic mild	Psychogeriatrics. 2016 Jan 12. doi:
33	Sakamoto A(1), Takayama H(2),	(1)Department of Comprehensive Cancer	Opioid withdrawal presenting only nausea during tapering of oxycodone after celiac	Ann Palliat Med. 2016 Jan;5(1):67-
34	Ohata C(1), Ishii N(1), Niizeki	(14)Department of Dermatology, Shinshu	Unique characteristics in Japanese dermatitis herpetiformis.	Br J Dermatol. 2016
35	Sakamoto Y(1), Kokudo N(1),	(5)Department of Radiology, Shinshu University School	Proposal of a new staging system for intrahepatic cholangiocarcinoma: Analysis	Cancer. 2016 Jan 1;122(1):61-70.
36	Miyake N(1), Tsurusaki Y(1),	(3)Department of Medical Genetics, Shinshu	Delineation of clinical features in Wiedemann-Steiner syndrome caused by	Clin Genet. 2016 Jan;89(1):115-9.
37	Yanagisawa R(1),(2),	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Intrathecal donor lymphocyte infusion for isolated leukemia relapse in the central	Int J Hematol. 2016 Jan;103(1):107-11.
38	Ito K(1),(2), Yotsuyanagi	Imai Y, Yamada N, Takahashi H, Ishii K,	Geographic distribution and characteristics of genotype A hepatitis B virus infection in	J Gastroenterol Hepatol. 2016
39	Ueno N(1), Shimizu A(1),	(1)Department of Molecular Biosciences, Faculty of Life	Enhanced Expression of Fibroblast Growth Factor Receptor 3 Il1c Promotes Human	J Histochem Cytochem. 2016
40	Itsubo T(1), Uchiyama S(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Factors affecting extension lag after tendon reconstruction for finger extensor tendon	J Orthop Sci. 2016 Jan;21(1):19-23.
41	Karube T(1), Uchiyama S(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Functional evaluation and DASH scores of a patient treated with second toe-to-	J Orthop Sci. 2016 Jan;21(1):97-9. doi:
42	Yamada M(1), Saito A(2),	(3)Department of Pathology, School of Medicine, Shinshu	Quantitative nucleic features are effective for discrimination of intraductal	J Pathol Inform. 2016;7:1. doi:
43	Hamanaka K(1), Ohashi M(2),	(1)Department of Thoracic Surgery, Suwa Red Cross	Primary mediastinal dedifferentiated liposarcoma resected by lateral	J Surg Case Rep. 2016 Jan 1;2016(1).
44	Takahashi S(1), Takei M(2),	(3)Department of Urology, Shinshu University School	Clinical Guideline for Female Lower Urinary Tract Symptoms.	Low Urin Tract Symptoms. 2016
45	Chang CT(1), Wang GJ, Kuo	(1)From the L5 Research Center, China Medical	Electronegative Low-density Lipoprotein Increases Coronary Artery Disease Risk in	Medicine (Baltimore). 2016
46	Yamazaki T(1),(2),	(2)Department of Infection and Host Defense , Shinshu	IL-18 serum concentration is markedly elevated in typical familial Mediterranean	Mod Rheumatol. 2016;26(2):315-7.
47	Oba T(1), Ono M(1), Iesato	(1)Division of Breast, Endocrine and Respiratory	Lipid-rich carcinoma of the breast that is strongly positive for estrogen receptor: a	Onco Targets Ther. 2016;9:1641-6.
48	Komori K(1),(2), Yanagisawa	(2)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Temozolomide Treatment for Pediatric Refractory Anaplastic Ependymoma with	Pediatr Blood Cancer. 2016
49	Tokutake T(1), Baba H(1),	(3)Center for Medical Education, Shinshu	Exogenous Magnesium Chloride Reduces the Activated Partial Thromboplastin	PLoS One. 2016;11(6):e015783
50	Yokoyama C(1), Aoyama T(1),(2),	(4)Department of Physiology, Shinshu	Deletion of LOX-1 Protects against Heart Failure Induced by Doxorubicin.	PLoS One. 2016;11(5):e015499
51	Daikuhara S(1), Uehara T(2),	(1)Department of Gastroenterology, Shinshu	Insulin-Like Growth Factor II mRNA-Binding Protein 3 (IMP3) as a Useful	Acta Histochem Cytochem. 2015
52	Yoshizawa K(1),(2), Joshita	(1)Department of Gastroenterology, National	Incidence and prevalence of autoimmune hepatitis in the Ueda area, Japan.	Hepatol Res. 2015 Dec 15. doi:
53	Shimodaira S(1), Sano K(2),	(1)Center for Advanced Cell Therapy, Shinshu University	Dendritic Cell-Based Adjuvant Vaccination Targeting Wilms' Tumor 1 in Patients with	Vaccines (Basel). 2015 Dec
54	Aoki T(1),(2), Shimada K(2),	(9)Department of Biomedical Laboratory Sciences,	High-dose chemotherapy followed by autologous stem cell transplantation for	Blood Cancer J. 2015 Dec 4;5:e372.

55	Gavilan J(1), Adunka O(2),	(25) Shinshu University School of Medicine ,	Quality standards for bone conduction implants.	Acta Otolaryngol. 2015
56	Manabe S(1), Hatano M(2),	(3)Institute for Biomedical Sciences, Interdisciplinary	Renal AH Amyloidosis Associated With a Truncated Immunoglobulin Heavy Chain	Am J Kidney Dis. 2015
57	Yanamoto S(1), Otsuru M(2),	(4)Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu	Multicenter Retrospective Study of Adjuvant Therapy for Patients with	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl
58	Hayashi T(1), Horiuchi A(1),	(1)Department of Immunology and Infectious	Biological characterization of soft tissue sarcomas.	Ann Transl Med. 2015
59	Matsumoto A(1), Yatsuhashi H(2),	(1)Department of Medicine, Shinshu University School	Factors associated with the effect of interferon-alpha sequential therapy in	Hepatol Res. 2015 Dec;45(12):1195-
60	Yamanoi K(1),(2), Sekine	(5)Department of Molecular Pathology, Shinshu	Decreased expression of gastric gland mucin-specific glycan alpha1,4-linked N-	Histopathology. 2015
61	Nakamura K(1), Ohira M(2),	(1)Department of Rehabilitation, Matsumoto	Validity and Reproducibility of an Incremental Sit-To-Stand Exercise Test	J Sports Sci Med. 2015
62	Tanaka S(1), Ishikawa E(2),	(1)Department of Health Science, Faculty of	Effects of Early-Stage Group Psychoeducation Programme for Patients	Occup Ther Int. 2015
63	Uehara S(1), Kurita H(2),	(1)Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu	Predictability of staged localized alveolar ridge augmentation using a micro titanium	Oral Maxillofac Surg. 2015
64	Kobayashi S(1), Tsukadaira A,	(1)Department of Anatomical Pathology,	Amoebic encephalitis in a farmer.	Pathology. 2015 Dec;47(7):720-2.
65	Al-Kzayer LF(1), Sakashita	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Analysis of KRAS and NRAS Gene Mutations in Arab Asian Children With	Pediatr Blood Cancer. 2015
66	Mukai S(1), Ikeda M(1),	(1)Department of Health and Medical Sciences,	Differences in the function and secretion of congenital aberrant fibrinogenemia between	Thromb Res. 2015 Dec;136(6):1318-
67	Nishida N(1),(2), Ohashi J(3),	(10)Department of Medicine, Shinshu	Effects of HLA-DPB1 genotypes on chronic hepatitis B infection in Japanese	Tissue Antigens. 2015
68	Tooyama H(1), Matsumoto T(2),	(1)Department of Dentistry and Oral Surgery, Shinshu	Candida concentrations determined following concentrated oral rinse culture	BMC Oral Health. 2015 Nov
69	Nakamura T(1), Setsu K(2),	(1)Department of Psychiatry, Shinshu	Chronic exposure to carbon monoxide in two elderly patients using a kotatsu, a	Psychogeriatrics. 2015 Nov 9. doi:
70	Yamazaki N(1), Kiyohara Y(2),	(3)Department of Dermatology, Shinshu	Phase II study of ipilimumab monotherapy in Japanese patients with advanced	Cancer Chemother Pharmacol. 2015
71	Yamazaki N(1), Uhara H(2),	(2)Department of Dermatology, Shinshu	Phase II study of the immune-checkpoint inhibitor ipilimumab plus dacarbazine in	Cancer Chemother Pharmacol. 2015
72	Kashima H(1), Wu RC(2), Wang	(1)Kelly Gynecologic Oncology Service,	Laminin C1 expression by uterine carcinoma cells is associated with tumor	Gynecol Oncol. 2015
73	Yanagisawa S(1), Soyano A(2),	(3)School of Health Sciences, Shinshu	Effect of a maternal and child health handbook on maternal knowledge and	Health Policy Plan. 2015
74	Furuya S(1), Hisasue S(2),	(3)Department of Urology, School of Medicine, Shinshu	Novel insight for midline cyst formation in prostate: The involvement of decreased	Int J Urol. 2015 Nov;22(11):1063-7.
75	Motobayashi M(1), Shigemura	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Cytomegalovirus Encephalitis in a Patient with Severe Combined Immunodeficiency.	J Clin Immunol. 2015
76	Nakamura K(1), Kamiyo F(1),	(1)Department of Dermatology, Shinshu	Primary cutaneous nocardiosis caused by Nocardia concava.	J Dermatol. 2015 Nov;42(11):1121-2.
77	Nishizawa H(1), Genno H(2),	(1)School of Health Sciences, Faculty of	Periodic sound-based 6-minute walk test for patients with Duchenne muscular	J Phys Ther Sci. 2015
78	Ikegami S(1), Takahashi J,	(1)*Department of Orthopedic Surgery,	Efficacy of Erythropoietin-Beta Injections During Autologous Blood Donation Before	Spine (Phila Pa 1976). 2015
79	Kato H(1), Nakayama T(1),	(5)Division of Transfusion Medicine, Shinshu	Repeated exposure rather than the total volume of transfused components may	Transfusion. 2015 Nov;55(11):2576-
80	Misawa S(1), Sakamoto H(2),	(11)Department of Biomedical Laboratory	Rare cause of severe anemia due to pyogenic granuloma in the jejunum.	BMC Gastroenterol.
81	Nishizawa O(1),(2).	(2)Shinshu University Hospital, Matsumoto,	How Serotonin is Related with Lower Urinary Dysfunction.	Adv Ther. 2015 Oct;32 Suppl 1:1-
82	Okamoto S(1), Iida O(2),	(13)Department of Cardiovascular Medicine,	Postprocedural Skin Perfusion Pressure Correlates With Clinical Outcomes 1 Year	Angiology. 2015 Oct;66(9):862-6.
83	Shiba N(1), Miyazaki D(2),	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Differential roles of MMP-9 in early and late stages of dystrophic muscles in a	Biochim Biophys Acta. 2015

84	Yamaguchi O(1), Kakizaki H(2),	(6)Department of Urology, Shinshu University,	Safety and efficacy of mirabegron as 'add-on' therapy in patients with overactive	BJU Int. 2015 Oct;116(4):612-22.
85	Suzuki D(1), Otsubo H(2),	(3)Faculty of Agriculture, Shinshu University, Minami-	Ultrastructure of the three anterior cruciate ligament bundles.	Clin Anat. 2015 Oct;28(7):910-6.
86	Okamura T(1), Komatsu M(2),	(1)Department of Gastroenterology, Shinshu	A case of acquired hemophilia A diagnosed after percutaneous endoscopic	Clin J Gastroenterol.
87	Horiuchi A(1), Hosoi K(2),	(3)Department of Laboratory Medicine,	Prospective, randomized comparison of 2 methods of cold snare polypectomy for	Gastrointest Endosc. 2015
88	Wang X(1), Muramatsu H(1),	(4)Department of Pediatrics, Shinshu University School	GATA2 and secondary mutations in familial myelodysplastic syndromes and pediatric	Haematologica. 2015
89	Kawamura S(1), Agematsu K(2),	(2)Department of Infection and Host Defense, Shinshu	A Case Report of Familial Mediterranean Fever Diagnosed Following the Total Knee	HSS J. 2015 Oct;11(3):278-80.
90	Tamaoki A(1), Kojima T(2),	(1)From Shinshu University Interdisciplinary Graduate	Intraocular lens power calculation in cases with posterior keratoconus.	J Cataract Refract Surg. 2015
91	Sakaizawa K(1), Ashida A(1),	(1)Department of Dermatology, Shinshu	Clinical characteristics associated with BRAF, NRAS and KIT mutations in	J Dermatol Sci. 2015 Oct;80(1):33-
92	Yamada S(1),(2), Okamura	(1)Department of Molecular Pathology, Shinshu	Reduced gland mucin-specific O-glycan in gastric atrophy: A possible risk factor for	J Gastroenterol Hepatol. 2015
93	Nakamura M(1),(2),	(10)First Department of Surgery, Shinshu University	Multicenter comparative study of laparoscopic and open distal	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015
94	Sakai K(1),(2), Shimodaira S(3),	(1)Department of Neurosurgery, Shinshu	Dendritic cell-based immunotherapy targeting Wilms' tumor 1 in patients with	J Neurosurg. 2015 Oct;123(4):989-97.
95	Takeuchi D(1), Koide N(2),	(1)Department of Surgery, Shinshu University School	Postoperative complications in elderly patients with gastric cancer.	J Surg Res. 2015 Oct;198(2):317-26.
96	Sasaki A(1), Kakita A(2),	(3)Department of Brain Disease Research, Shinshu	Variable expression of microglial DAP12 and TREM2 genes in Nasu-Hakola disease.	Neurogenetics. 2015
97	Notohara K(1), Nishimori I,	(1)From the *Department of Anatomic Pathology,	Clinicopathological Features of Type 2 Autoimmune Pancreatitis in Japan: Results	Pancreas. 2015 Oct;44(7):1072-7.
98	Nomura H(1), Takanashi S(1),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Specific biological responses of the synovial membrane to carbon nanotubes.	Sci Rep. 2015 Sep 21;5:14314. doi:
99	Hayashi T(1), Horiuchi A(2),	(1)Department of Immunology and Infectious	Uterine Leiomyosarcoma Tumorigenesis in Lmp2-deficient Mice: Involvement of	Anticancer Res. 2015
100	Moriyama M(1), Fujimoto Y(2),	(10)Department of Medicine (Neurology and	Mechanism for increased hepatic glycerol synthesis in the citrin/mitochondrial	Biochim Biophys Acta. 2015
101	Nishimura T(1), Inaba Y(2),	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Reduction in peripheral regulatory T cell population in childhood ocular type	Brain Dev. 2015 Sep;37(8):808-16.
102	Kusumoto S(1), Tanaka Y(2),	(28)Department of Medicine, Shinshu	Monitoring of Hepatitis B Virus (HBV) DNA and Risk of HBV Reactivation in B-	Clin Infect Dis. 2015 Sep
103	Watanabe S(1), Yamamori S(2),	(6)Department of Environmental Science and	Epileptogenesis and epileptic maturation in phosphorylation site-specific SNAP-25	Epilepsy Res. 2015 Sep;115:30-44.
104	Akamatsu T(1), Okamura T(2),	(1)Endoscopy Center, Suzaka Prefectural Hospital,	Screening to Identify and Eradicate Helicobacter pylori Infection in Teenagers	Gastroenterol Clin North Am. 2015
105	Horiuchi A(1), Kubota N(2),	(5)Division of Infection Control and Microbiological	Notable alkaline tolerance of Kocuria marina isolate from blood of a pediatric	J Infect Chemother. 2015
106	Shimizu A(1), Kobayashi A(1),	(1)First Department of Surgery, Shinshu University	Features of acute liver congestion on gadoxetate disodium-enhanced MRI in a	J Magn Reson Imaging. 2015
107	Iida O(1), Nakamura M(2),	(12)Department of Cardiovascular Medicine,	3-Year Outcomes of the OLIVE Registry, a Prospective Multicenter Study of	JACC Cardiovasc Interv. 2015
108	Yamaori S(1), Kinugasa Y(2),	(1)Department of Pharmacy, Shinshu University Hospital,	Cannabidiol induces expression of human cytochrome P450 1A1 that is possibly	Life Sci. 2015 Sep 1;136:87-93. doi:
109	Kawai Y(1),(2), Ajima K(2),	(1)Department of Innovation of Medical and Health	Abdominal Respiration Induces Hemodilution and Related Reduction in	Lymphat Res Biol. 2015
110	Shirota T(1), Ojima H(2),	(1)Division of Cancer Genomics, National Cancer	Heat Shock Protein 90 Is a Potential Therapeutic Target in Cholangiocarcinoma.	Mol Cancer Ther. 2015
111	Nakamura H(1), Arai Y(1), Totoki	(2)First Department of Surgery, Shinshu University	Genomic spectra of biliary tract cancer.	Nat Genet. 2015 Sep;47(9):1003-10.
112	Urata K(1), Ikegami T(2),	(1)First Department of Surgery, Shinshu University	Living-Donor Liver Transplantation for Hepatic Metastasis From脳・Meningeal	Transplant Proc. 2015

113	Ericzon BG(1), Wilczek HE,	(1)1 Division of Transplantation Surgery,	Liver Transplantation for Hereditary Transthyretin Amyloidosis: After 20 Years	Transplantation. 2015
114	Kehara H(1), Takano T(1),	(2)Department of Cardiovascular Surgery,	Pseudoaneurysm fistulated into the right atrium after double valve replacement.	Heart Surg Forum. 2015 Aug
115	Yamaguchi A(1), Matsuda K(2),	(1)Graduate School of Science and Technology,	Development of a rapid and sensitive one-step reverse transcription-nested	Clin Chim Acta. 2015 Aug
116	Chien YH(1), Abdenur JE(2),	(12)Department of Pediatrics, Shinshu	Mudd's disease (MAT I/III deficiency): a survey of data for MAT1A homozygotes	Orphanet J Rare Dis. 2015 Aug
117	Furusawa N(1), Kobayashi A(2),	(1)Department of Surgery, Shinshu University School	Biliary tract variations of the left liver with special reference to the left medial	Am J Surg. 2015 Aug;210(2):351-6.
118	Uehara M(1), Takahashi J(1),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Mini Open Foraminotomy for Cervical Radiculopathy: A Comparison of Large	Asian Spine J. 2015 Aug;9(4):548-52.
119	Yamazaki H(1), Uchiyama S(2),	(2)Department of Orthopaedic Surgery,	Risk Assessment of Tendon Attrition Following Treatment of Distal Radius	J Hand Surg Am. 2015
120	Sakaizawa T(1), Yoshizawa A,	(1)*Department of Chest and Breast Surgery, Nagano	A Case of Pulmonary Squamous Cell Carcinoma Revealed Ground Glass Opacity	J Thorac Oncol. 2015
121	Yanagisawa R(1),(2),	(2)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Interleukin-8-producing primary cardiac undifferentiated sarcoma in a child with	Pediatr Int. 2015 Aug;57(4):742-5.
122	Takeuchi S(1), Yazaki M(2),	(2)Institute for Biomedical Sciences, Shinshu	An Adolescent Case of Citrin Deficiency With Severe Anorexia Mimicking Anorexia	Pediatrics. 2015 Aug;136(2):e530-4.
123	Nagaoka T(1), Kiyohara Y(2),	(3)Department of Dermatology, Shinshu	Modification of a melanoma discrimination index derived from hyperspectral data: a	Skin Res Technol. 2015
124	Miyagi T(1), Itonaga H(2),	(4)Department of Infection and Host Defense, Graduate	Successful treatment of toxoplasmic encephalitis diagnosed early by polymerase	Transpl Infect Dis. 2015
125	Khosroshahi A(1), Wallace	(13)Shinshu University, Matsumoto, Japan.	International Consensus Guidance Statement on the Management and	Arthritis Rheumatol. 2015
126	Yamazaki H(1), Uchiyama S(2),	(2)Shinshu University School of Medicine,	Arthroscopic assistance does not improve the functional or radiographic outcome of	Bone Joint J. 2015 Jul;97-B(7):957-
127	Yuzhe H(1),(2), Kamijo Y(1),(3),	(1)Department of Metabolic Regulation, Institute of	Serum sulfatide abnormality is associated with increased oxidative stress in	Hemodial Int. 2015 Jul;19(3):429-38.
128	Asaka S(1), Yoshizawa A,	(1)Department of Laboratory Medicine (S.A.,	A Case of Vulval Extramammary Paget Disease With Dermal Invasion Showing	Int J Gynecol Pathol. 2015
129	Yokoyama O(1), Yamaguchi A(2),	(5)Department of Urology, School of Medicine, Shinshu	Once-daily oxybutynin patch improves nocturia and sleep quality in Japanese	Int J Urol. 2015 Jul;22(7):684-8.
130	Usami M(1), Iwadare Y(2),	(5)Department of Neuropsychiatry, Shinshu	A case-control study of the difficulties in daily functioning experienced by children	J Affect Disord. 2015 Jul
131	Yamazaki N(1), Kiyohara Y(2),	(4)Department of Dermatology, Shinshu	Phase I/II study of vemurafenib in patients with unresectable or recurrent melanoma	J Dermatol. 2015 Jul;42(7):661-6.
132	Wada T(1), Akagi T(2),	(5)Department of Infection and Host Defense, Shinshu	A Novel In-Frame Deletion in the Leucine Zipper Domain of C/EBPepsilon Leads to	J Immunol. 2015 Jul 1;195(1):80-6. doi:
133	Matsuki H(1), Shibano J(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	Elastic modulus of the femoral trochanteric region measured by scanning acoustic	J Med Ultrason (2001). 2015
134	Chang KC(1), Lee AS(2), Chen	(6)Department of Physiology, Shinshu	Increased LDL electronegativity in chronic kidney disease disrupts calcium	J Mol Cell Cardiol. 2015 Jul;84:36-44.
135	Masuda K(1), Akiyama K(1),	(3)Department of Medical Genetics, Shinshu	Exome Sequencing Identification of EP300 Mutation in a Proband with Coloboma and	Mol Syndromol. 2015 Jul;6(2):99-
136	Tanabe N(1),(2), Taniguchi H(3),	(9)First Department of Medicine, Shinshu	Multi-institutional retrospective cohort study of patients with severe pulmonary	Respirology. 2015 Jul;20(5):805-12.
137	Kang S(1), Fernandes-	(6)Department of Biomedical Laboratory Sciences, School	Caspase-8 scaffolding function and MLKL regulate NLRP3 inflammasome activation	Nat Commun. 2015 Jun 24;6:7515. doi:
138	Onoda N(1),(2), Sugitani	(10)Prospective Clinical Study Committee of	Concept and design of a nationwide prospective feasibility/efficacy/safety	BMC Cancer. 2015 Jun 20;15:475. doi:
139	Nakamura Y(1), Kikugawa S(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	PCSK5 mutation in a patient with the VACTERL association.	BMC Res Notes. 2015 Jun 9;8:228.
140	Nakamura A(1),(2).	(1)Intractable Disease Care Center, Shinshu University	X-Linked Dilated Cardiomyopathy: A Cardiospecific Phenotype of	Pharmaceuticals (Basel). 2015 Jun
141	Aoki T(1), Suzuki R(2),	(9)Department of Hematology, Shinshu	Long-term survival following autologous and allogeneic stem cell transplantation for	Blood. 2015 Jun 4;125(23):3559-62.

142	Umemura T(1), Joshita S(1),	(1)Division of Hepatology and Gastroenterology,	Serum Wisteria floribunda Agglutinin- Positive Mac-2-Binding Protein Level	Am J Gastroenterol.
143	Izumi K(1),(2), Kubota N(3),(4),	(8)Department of Medical Genetics, Shinshu	Dissecting the phenotype of supernumerary marker chromosome 20 in a patient with	Am J Med Genet A. 2015
144	Nagaya T(1), Tanaka N(2),	(1)Department of Gastroenterology, Shinshu	Mechanism of the development of nonalcoholic steatohepatitis after	BBA Clin. 2015 Jun;3:168-74. doi:
145	Nakayachi M(1), Ito J(2),	(10)Department of Vascular Physiology, National	Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1 abrogation causes	Bone. 2015 Jun;75:170-82. doi:
146	Uchiyama S(1), Ikegami S(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	The skeletal muscle cross sectional area in long-term bisphosphonate users is smaller	Bone. 2015 Jun;75:84-7. doi:
147	Kojima A(1), Saga I(2), Tomio	(4)Department of Medical Genetics, Shinshu	Aggressive change of a carotid-cavernous fistula in a patient with Ehlers-Danlos	Interv Neuroradiol. 2015
148	Yokoe M(1), Takada T(2),	(13)Department of Radiology, Shinshu	Japanese guidelines for the management of acute pancreatitis: Japanese Guidelines	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015
149	Ogiwara T(1),(2), Goto T(1),	(1)1Department of Neurosurgery, Shinshu	Subtemporal transtentorial approach for recurrent trigeminal neuralgia after	J Neurosurg. 2015 Jun;122(6):1429-
150	Mizokami M(1), Yokosuka O(2),	(13)Shinshu University, Nagano, Japan.	Ledipasvir and sofosbuvir fixed-dose combination with and without ribavirin for	Lancet Infect Dis. 2015
151	Oyanagi K(1), Yamazaki M(2),	(1)Department of Brain Disease Research, Shinshu	Hippocampal sclerosis in the parkinsonism- dementia complex of Guam: quantitative	Neuropathology. 2015
152	Sato A(1), Koyama J,	(1)*Division of Neurosurgery, Ina Central	A reverse-action clip applier for aneurysm surgery.	Neurosurgery. 2015 Jun;11 Suppl
153	Taira C(1), Matsuda K(2),	(1)Department of Laboratory Medicine,	Rapid single nucleotide polymorphism based method for hematopoietic chimerism	Clin Chim Acta. 2015 May
154	Jin C(1), Washimi Y(2),	(3)Division of Neurogenetics, Department	Characterization of spheroids in hereditary diffuse leukoencephalopathy with axonal	J Neurol Sci. 2015 May 15;352(1-
155	Miyagawa M(1), Nishio SY(1),	(1)Department of Otorhinolaryngology,	Massively parallel DNA sequencing successfully identified seven families with	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015
156	Miyagawa M(1), Nishio SY(1),	(1)Department of Otorhinolaryngology,	Mutational spectrum and clinical features of patients with ACTG1 mutations	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015
157	Miyagawa M(1), Nishio SY(1),	(1)Department of Otorhinolaryngology,	Mutations in the MYO15A gene are a significant cause of nonsyndromic hearing	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015
158	Sakuma N(1), Moteki H(2),	(1)Department of Otorhinolaryngology and	Novel PTPRQ mutations identified in three congenital hearing loss patients with	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015
159	Tsukada K(1), Ichinose A(1),	(1)Department of Otorhinolaryngology,	Detailed hearing and vestibular profiles in the patients with COCH mutations.	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015
160	Yoshimura H(1), Hashimoto T(2),	(1)Department of Otorhinolaryngology,	Novel ABHD12 mutations in PHARC patients: the differential diagnosis of deaf-	Ann Otol Rhinol Laryngol. 2015
161	Shiraki T(1), Iida O(2), Takahara	(15)Department of Advanced PAD	Predictors of delayed wound healing after endovascular therapy of isolated	Eur J Vasc Endovasc Surg.
162	Kanno A(1), Masamune A,	(1)From the *Division of Gastroenterology, Tohoku	Nationwide epidemiological survey of autoimmune pancreatitis in Japan in 2011.	Pancreas. 2015 May;44(4):535-9.
163	Kobayashi N(1), Takezaki S(1),	(1)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Clinical and laboratory features of fatal rapidly progressive interstitial lung disease	Rheumatology (Oxford). 2015
164	Yanagisawa R(1), Ishii E, Motoki	(1)Division of Hematology/Oncology,	Pretransplant-corrected QT dispersion as a predictor of pericardial effusion after	Transpl Int. 2015 May;28(5):565-74.
165	Ohe A(1), Kimura T, Goh	(1)*Department of Rehabilitation, Tachiiri	Characteristics of trunk control during crouching unilateral leg raising in	Spine (Phila Pa 1976). 2015 Apr
166	Kato T(1), Takashima A(2),	(20)Department of Obstetrics and Gynecology,	Clinical tumor diameter and prognosis of patients with FIGO stage IB1 cervical	Gynecol Oncol. 2015
167	Migita K(1), Izumi Y(2),	(1)Department of Rheumatology and Clinical	Dysregulated mature IL-1beta production in familial Mediterranean fever.	Rheumatology (Oxford). 2015
168	Higurashi N(1), Takahashi Y(2),	(10)Department of Medical Genetics, Shinshu	Immediate suppression of seizure clusters by corticosteroids in PCDH19 female	Seizure. 2015 Apr;27:1-5. doi:
169	Ikeda M(1), Arai S(2), Mukai S(3),	(1)Department of Clinical Laboratory Investigation,	Novel heterozygous dysfibrinogenemia, Sumida (AalphaC472S), showed markedly	Thromb Res. 2015 Apr;135(4):710-7.
170	Nakayama Y(1), Shimizu T(2),	(6)Department of Brain Disease Research , Shinshu	Predictors of impaired communication in amyotrophic lateral sclerosis patients with	Amyotroph Lateral Scler

171	Matsushima A(1), Yoshida	(1)Department of Neurology and Rheumatology, Shinshu	Clinical assessment of standing and gait in ataxic patients using a triaxial	Cerebellum Ataxias. 2015;2:9.
172	Hashimoto T(1), Iwahashi T(2),	(3)Department of Medicine (Neurology and	EEG-EMG polygraphic study of dystonia and myoclonus in a case of Creutzfeldt-	Epilepsy Behav Case Rep.
173	Hioki H(1), Miura T(1),	(1)Department of Cardiovascular Medicine ,	Lean body mass index prognostic value for cardiovascular events in patients with	Heart Asia. 2015;7(2):12-18.
174	Kameda T(1), Ohkawa R(1),	(2)Department of Laboratory Medicine,	Effects of Myeloperoxidase-Induced Oxidation on Antiatherogenic Functions of	J Lipids. 2015;2015:592594.
175	Sekiguchi T(1), Umemura T(1),	(1)Department of Medicine, Division of Hepatology and	Serum cell death biomarkers for prediction of liver fibrosis and poor prognosis in	PLoS One. 2015;10(6):e013165
176	Oguchi T(1), Ota M(2), Ito	(1)Department of Gastroenterology, Shinshu	Investigation of susceptibility genes triggering lachrymal/salivary gland lesion	PLoS One. 2015;10(5):e012707
177	Yasunami M(1), Nakamura H(1),	(2)Department of Infection and Host Defense, Graduate	Identification of Disease-Promoting HLA Class I and Protective Class II Modifiers in	PLoS One. 2015;10(5):e012593
178	Nakajima A(1), Masaki Y(1),	(13)Medical Informatics Division and Department of	Decreased Expression of Innate Immunity-Related Genes in Peripheral Blood	PLoS One. 2015;10(5):e012658
179	Sasaki Y(1), Usami M(1),	(2)Department of Psychiatry, Shinshu	Concerns expressed by parents of children with pervasive developmental disorders for	PLoS One. 2015;10(4):e012469
180	Tsuchiya T(1), Iida O(2), Shiraki	(7)Department of Cardiovascular Medicine,	Clinical characteristics of patients with Rutherford category IV, compared with V	SAGE Open Med. 2015;3:2050312115
181	Hagiwara S(1), Nakayama Y(2),	(2)Department of Pediatrics, Shinshu University School	Pediatric Patient and Parental Anxiety and Impressions Related to Initial	Scientifica (Cairo). 2015;2015:797564.
182	Horiuchi T(1), Seguchi T(2), Ito	(1)Department of Neurosurgery, Shinshu	Usefulness of needle holder with a function of fine forceps for bypass surgery in both	Surg Neurol Int. 2015;6:55. doi:
183	Nakamura Y(1), Kamimura M(2),	(1)Department of Orthopaedic Surgery,	A case series of pregnancy- and lactation-associated osteoporosis and a review of the	Ther Clin Risk Manag.

計183

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	菅野 光俊, 上原剛, 石嶺 南生,	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	電気泳動による臨床検査 電気泳動で明らかになる新症例 電気泳動検査が発見の	電気泳動(2189-2628)59巻1号
2	中曾根 沙妃, 山鹿 隆義, 大津	信州大学医学部附属病院	がん患者における健康状態と生活の質の解離について m-FIM, EORTC QLQ-	理学療法研究・長野(1347-2976)44号
3	松森 圭司, 山鹿 隆義, 中曾根 沙	信州大学医学部附属病院	低栄養がん患者の栄養指標は身体活動を反映する指標になるか	理学療法研究・長野(1347-2976)44号
4	大津 勇介, 山鹿 隆義, 中曾根 沙	信州大学医学部附属病院	入院がん患者の基本動作評価は身体活動量を反映するか	理学療法研究・長野(1347-2976)44号
5	倉島 美穂, 川内 翔平, 山鹿 隆	信州大学医学部附属病院	当院における慢性閉塞性肺疾患患者の増悪因子の検討 栄養状態に着目して	理学療法研究・長野(1347-2976)44号
6	川内 翔平, 倉島 美穂, 山鹿 隆	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	慢性閉塞性肺疾患患者の重症化に伴う日常生活活動の変化	理学療法研究・長野(1347-2976)44号
7	山鹿 隆義, 佐藤 正彬, 小林 裕	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	脳卒中患者における急性期病院退院時の栄養状態が回復期病院退院時の日常生活	国立大学リハビリテーション療法士
8	石田 昂彬, 田中 厚誌, 山鹿 隆	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	大腿軟部肉腫術後の患側筋力と歩行能力について	国立大学リハビリテーション療法士
9	佐藤 正彬, 山鹿 隆義, 小林 裕	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	信州脳卒中地域連携パス利用した脳卒中患者の歩行獲得における予後予測因子の	国立大学リハビリテーション療法士
10	西村 輝, 石原 早紀子, 山鹿 隆	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	補助人工心臓装着後に脳梗塞を合併した 女児への作業療法	国立大学リハビリテーション療法士

11	堺 彩夏, 近藤 優樹, 西川 良	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	遊びに着目した作業療法を受けた急性リンパ性白血病患児のQOLの推移	国立大学リハビリテーション療法士
12	川内 翔平, 倉島 美穂, 山鹿 隆	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	当院における特発性間質性肺炎患者の増悪に対するリハビリテーション効果と増悪予	国立大学リハビリテーション療法士
13	松森 圭司, 山鹿 隆義, 中曾根 沙	信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部	入院がん患者における骨格筋量減少群と正常群で身体動作能力に差はあるか?	国立大学リハビリテーション療法士
14	坪田 芳枝, 大久保 敏子	信州大学医学部附属病院	新人看護師が夜勤にあたって直面する困難とその対応策 夜勤導入基準シートを用	長野県看護研究学会論文集(1882-
15	草間 恵里, 西澤 千文, 石津 美	信州大学医学部附属病院	中信地域糖尿病療養指導士育成講習会を受講した看護職の背景と受講後の活動	長野県看護研究学会論文集(1882-
16	浦 みどり, 田中 仁美, 高橋 香	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	呼気中一酸化窒素濃度の吸入気管支拡張薬による影響の検討	臨床病理(0047-1860)64巻2号
17	間宮 敬子, 坂本 明之	信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和部門	【麻酔科サブスペシャリティとしての緩和ケア】大学病院における緩和ケアと地域連携	麻酔(0021-4892)65巻3号 Page248-
18	齋藤 知子, 野澤 早加, 小泉 知展	信州大学医学部附属病院 診療録管理室	がん診療連携拠点病院の院内がん登録からみた長野県のがん状況(第一報)	信州医学雑誌(0037-3826)64巻1
19	間宮 敬子	信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和部門	緩和ケアと医療倫理	信州医学雑誌(0037-3826)64巻1
20	Arakura Norikazu, Ito	Endoscopic Examination Center, Shinshu University	自己免疫性膵炎を伴う巨大膵仮性嚢胞の治療(Treatment of a Huge Pancreatic	信州医学雑誌(0037-3826)63巻6
21	Arakura Norikazu, Ito	Endoscopic Examination Center, Shinshu University	Billroth 1型胃切除術施行患者におけるマルチベンディング十二指腸鏡を用いた内視	信州医学雑誌(0037-3826)63巻6
22	嘉嶋 勇一郎, 今村 浩	信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター	救急疾患への対応 心血管疾患への対応(急性冠症候群・腹部大動脈瘤)	救急・集中治療医学レビュー2016-
23	永田 賢子	信州大学医学部附属病院 看護部	【主任がスタッフ目線・意識を卒業するとき 同年代スタッフとの線の引き方、管理者とし	主任看護師: 管理・教育・業務25巻4号
24	山本 悠太, 増田 雄一, 井出 裕一	信州大学医学部附属病院 移植外科	FISH法により末梢血中にドナーリンパ球を同定した脳死肝移植後溶血性貧血の1例	移植(0578-7947)50巻4-5号 Page429-
25	小澤 秀介, 小林 愛子, 高津 亜希	信州大学医学部附属病院 薬剤部	切迫早産治療薬としてニフェジピンが奏功した一例	医療薬学(1346-342X)42巻3号
26	上條 祐司	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	腎とミネラルウォーター	腎臓内科・泌尿器科(2188-9147)2巻6
27	鈴木 一浩, 中村 敏範, 杉山 暢宏	信州大学医学部附属病院 精神科	【臨床現場でガイドラインをどう使いこなすか】日本うつ病学会治療ガイドライン	精神科(1347-4790)28巻3号
28	菅野 光俊, 川崎 健治, 松本 剛,	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	学生対象のReversed Clinico Pathological Conference:RCPC 信州大学病院での	臨床検査学教育(1883-3144)8巻1号
29	川崎 健治	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	臨地実習前のOSCE 信州大学病院の生化学・免疫血清検査における臨地実習	臨床検査学教育(1883-3144)8巻1号
30	山折 大	信州大学医学部附属病院 薬剤部	【いまさら聞けない薬物動態Q&A】代謝Q.見逃してはいけないCYP3Aにおける薬	薬事(0016-5980)58巻4号 Page670-
31	松本 竹久, 堀内 一樹, 根岸 達哉	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	Staphylococcus aureusのsmall-colony variants	日本臨床微生物学雑誌(0917-5059)26
32	中村 昭則, 滝沢 正臣, 宮崎 大	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	在宅人工呼吸器の遠隔監視、アラーム通報の試み	日本遠隔医療学会雑誌(1880-
33	滝沢 正臣, 中村 昭則, 日根野 晃	信州大学医学部附属病院	在宅難病患者と医師との高度テレコミュニケーションシステム(II)	日本遠隔医療学会雑誌(1880-
34	中村 昭則, 武田 伸一	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	【筋ジストロフィーup to date】骨格筋機能発達と加齢	Clinical Neuroscience(0289
35	関口 健二	信州大学医学部附属病院	【高齢者総合機能評価(CGA)を究める-多職種で高齢者の全体像を共有する方法】	Medical Alliance(2189-
36	寺田 志洋, 増田 雄一, 吉澤 一	信州大学医学部附属病院 移植外科	小児生体肝移植後の門脈血栓に対する溶解療法中に可溶性フィブリンをモニターし	移植(0578-7947)50巻6号 Page645-
37	多田 はるか, 高橋 由佳, 杉山	信州大学医学部附属病院 精神科	Psychiatric Lecture 治療 周産期におけるうつ病の薬物治療の進め方	精神科臨床 Legato(2189-
38	金井 信一郎	信州大学医学部附属病院 感染制御室	【継続・維持・向上を目指す 手指衛生の徹底化】手指衛生の指標 一般的な指標	感染対策ICTジャーナル(1881-
39	古庄 知己	信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部	小児耳鼻咽喉科領域における遺伝子医療 遺伝医療のあり方について 難聴を中心に	小児耳鼻咽喉科(0919-5858)36巻3
40	篠山 大明, 本田 秀夫	信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部	【臨床現場から見た精神疾患の変貌】自閉スペクトラム症は増えているのか	臨床精神医学(0300-032X)45巻1

41	金井 信一郎, 松本 剛, 春日 恵	信州大学医学部附属病院 感染制御室	【ER・ICUでの薬の使い方・考え方 2016-’17-エキスパートの実践と秘訣に学ぶ-】感	救急・集中治療 (1346-0935)27巻臨
42	松本 剛, 本田 孝行, 金井 信一	信州大学医学部附属病院 感染制御室	【ER・ICUでの薬の使い方・考え方 2016-’17-エキスパートの実践と秘訣に学ぶ-】感	救急・集中治療 (1346-0935)27巻臨
43	海老澤 聡一郎, 池田 宇一	信州大学医学部附属病院 循環器内科	【ER・ICUでの薬の使い方・考え方 2016-’17-エキスパートの実践と秘訣に学ぶ-】循	救急・集中治療 (1346-0935)27巻臨
44	本田 秀夫	信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部	【パーソナリティ障害の現実】パーソナリティ障害をめぐって パーソナリティ?それと	こころの科学(0912-0734)185号
45	松本 竹久	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	信州インフェクションコントロールサーベイランスシステム(SICSS) 耐性菌の把握から感	INFECTION CONTROL(0919-
46	古庄 知己	信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部	【小児疾患診療のための病態生理2 改訂第5版】染色体異常、先天異常 18番染色	小児内科(0385-6305)47巻増刊
47	進士 君枝	信州大学医学部附属病院	患者と医療者のパートナーシップを考える 患者の権利と倫理から見た真の患者支援と	医療と検査機器・試薬(1347-0434)38巻
48	伊東 千夏, 永田 文子	信州大学医学部附属病院	在宅での終末期ケアの認識に関する文献レビュー 利用者と家族が訪問看護師にし	国立病院看護研究学会誌(1349-
49	山岸 佑輔, 高橋 淳, 倉石 修吾,	信州大学医学部附属病院 整形外科	思春期特発性側彎症Lenke type2カーブに対するskip pedicle screw fixationの手術成	中部日本整形外科 災害外科学会雑誌
50	一萬田 正二郎, 神宮 邦彦, 佐野	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	Segmental arterial mediolysisが疑われる胆嚢動脈の壁破綻により肝漿膜下血腫を来し	診断病理(1345-6431)32巻4号
51	杉山 舞, 藤井 一聡, 山崎 大	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	T細胞リンパ芽球性白血病/リンパ腫を発症した維持透析患者の一例	長野県透析研究会 誌(1346-0005)38巻
52	林田 美江	信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー	【LAMに対するシロリムス療法の実用化時代を迎えて】日本におけるLAMの疫学,特	呼吸と循環(0452-3458)63巻12号
53	古庄 知己	信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部	18トリソミーに関するエビデンスの蓄積	日本小児循環器学 会雑誌(0911-
54	間宮 敬子	信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和部門	【緩和医療の今】症状緩和の今 漢方薬	ペインクリニック (0388-4171)36巻別
55	福島 和広, 池田 修一	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	【免疫性神経疾患-基礎・臨床研究の最新知見-】免疫性末梢神経疾患 慢性炎症	日本臨床(0047-1852)73巻増刊7 免
56	本田 秀夫	信州大学医学部附属病院 子どものこころの診療部	成人期の自閉スペクトラム	児童青年精神医学 とその近接領域
57	下平 滋隆	信州大学医学部附属病院 先端細胞治療センター	【移植医療を支える臨床検査】移植医療を支える臨床検査室・臨床検査技師	臨床検査(0485-1420)59巻13号
58	金井 信一郎, 向野 賢治	信州大学医学部附属病院 感染制御室	【感染制御の最前線 救急領域のベストプラクティス】感染制御の基礎 感染経路別	救急医学(0385-8162)39巻10号
59	新倉 則和, 浅野 純平, 金井 圭	信州大学医学部附属病院 内視鏡センター	【全身性疾患としてのIgG4関連疾患】IgG4関連疾患の臨床を知る IgG4関連硬化性	Modern Physician(0913-
60	浜野 英明	信州大学医学部附属病院 医療情報部	【全身性疾患としてのIgG4関連疾患】IgG4関連疾患の概要を知る バイオマーカーと	Modern Physician(0913-
61	福島 和広, 池田 修一	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	【免疫性神経疾患-病態解明と治療の最前線】慢性炎症性脱髄性多発ニューロパ	医学のあゆみ (0039-2359)255巻5
62	古庄 知己	信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部	【先天異常症候群】ピンポイント小児医療 18トリソミー症候群	小児内科(0385-6305)47巻10号
63	菅野 光俊, 戸塚 実, 本田 孝行	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	ルーチン検査(基本的検査)の読み方・考え方 私はこのように検査値を解釈します 信	臨床病理(0047-1860)63巻9号
64	川崎 健治	信州大学医学部附属病院 臨床検査部検体検査部門	【ひとりでも困らない!検査当直イエローページ】(III章)報告前に必要なチェック 生	臨床検査(0485-1420)59巻11号
65	内山 直美	信州大学医学部附属病院	現場の工夫と知恵を教えて!児と家族に合わせた退院計画・退院調整(第2回)	こどもケア10巻4号 Page99-
66	川崎 健治	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の”ここ見て!”9項目】項目 「電解質	Expert Nurse(0911-
67	宮崎 あかり	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の”ここ見て!”9項目】項目 「凝固・線	Expert Nurse(0911-
68	堀内 一樹	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の”ここ見て!”9項目】項目 「細胞傷	Expert Nurse(0911-
69	重藤 翔平	信州大学医学部附属病院 臨床検査部遺伝子検査室	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の”ここ見て!”9項目】項目 「胆管の	Expert Nurse(0911-
70	根岸 達哉	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の”ここ見て!”9項目】項目 「肝臓の	Expert Nurse(0911-

71	松本 剛	信州大学医学部附属病院 臨床検査部感染制御室	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の"ここ見て!"9項目】項目「腎臓の	Expert Nurse(0911-
72	新井 慎平	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の"ここ見て!"9項目】項目「細菌感	Expert Nurse(0911-
73	井出 裕一郎	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の"ここ見て!"9項目】項目「全身状	Expert Nurse(0911-
74	菅野 光俊	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	【ズバッと読み取る!検査値アセスメント 検査値の"ここ見て!"9項目】項目「栄養状	Expert Nurse(0911-
75	北澤 真帆, 古島 幸江	信州大学医学部附属病院 手術部	【何を大切に看護していますか?手術看護 におけるナラティブ】若手看護師のナラ	オペナーシング (0913-5014)30巻10
76	伊藤 喜世子	信州大学医学部附属病院 看護部	【主任目線で看護現場の無駄を排除する!] 本来の業務に専念する!看護補助者活用に	看護主任業務25巻 1号 Page12-
77	橋本 幸始, 神應 太朗, 上條 祐	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	内シャント作製による体水分分布の変化に 関する検討	腎と透析(0385- 2156)79巻別冊 ア
78	五味 潤 泉, 上條 祐司, 神應 太	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	内シャント設置術を施行した抗リン脂質抗 体症候群合併overlap症候群の1例	腎と透析(0385- 2156)79巻別冊 ア
79	的場 久典, 立石 文子, 小林 実喜	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	食道胃接合部発生の原発性絨毛癌の1例	診断病理(1345- 6431)32巻3号
80	根井 きぬ子	信州大学医学部附属病院	【看護管理者の評価と能力開発のためにつ くられたコンピテンシー・モデルの活用】信	看護展望(0385- 549X)40巻11号
81	土屋 広行, 新井 亮輔, 清水 佳一	信州大学医学部附属病院 薬剤部	院内処方せんへの臨床検査値表記が疑義 照会に与える影響	医療薬学(1346- 342X)41巻4号
82	樋口 由美子, 小 屋 照継, 湯沢	信州大学医学部附属病院 先端細胞治療センター	WT1ペプチドバルス樹状細胞療法後に検 出されたWT1特異的細胞傷害性T細胞	日本輸血細胞治療 学会誌(1881-
83	百瀬 正信, 太田 浩良, 羽山 正義	信州大学医学部附属病院 臨床検査部病理検査室	技術講座 病理 step up編 免疫染色にお けるメラニン色素脱色法の改良	検査と技術(0301- 2611)43巻11号
84	丸山 貴美子	信州大学医学部附属病院	在宅感染症対策 人工呼吸療法の感染対 策	難病と在宅ケア (1880-9200)21巻6
85	新田 憲市	信州大学医学部附属病院 救急集中治療医学講座	人工呼吸療法 呼吸生理の基礎の振り返り	難病と在宅ケア (1880-9200)21巻6
86	内田 緑	信州大学医学部附属病院 先端心臓血管病センター	【変革は誰のため?何のため?どう進める?現 場とスタッフに必要な変革を起こす】師長と	ナースマネジャー 17巻6号 Page7-
87	本田 秀夫	信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部	【子どものこだわり】自閉スペクトラムにお ける「こだわり」経験則と生活の知恵	こころの科学(0912- 0734)183号
88	藤永 康成	信州大学医学部附属病院 放射線部	【画像診断とIVRの最前線】MRI 肝MRI	クリニシアン(0387- 1541)62巻7号
89	松田 和之	信州大学医学部附属病院 臨床検査部遺伝子・染色体	技術講座 血液・遺伝子・染色体 シリーズ 造血器腫瘍の診療を支える遺伝子・染色	検査と技術(0301- 2611)43巻8号
90	永井 崇, 石塚 修	信州大学医学部附属病院 泌尿器科	【泌尿器がん患者の看護と治療 チャート・ 図解で流れが一目でわかる!】(第7章)精	泌尿器ケア(1349- 6549)2015夏季増
91	永井 崇, 石塚 修	信州大学医学部附属病院 泌尿器科	【泌尿器がん患者の看護と治療 チャート・ 図解で流れが一目でわかる!】(第7章)精	泌尿器ケア(1349- 6549)2015夏季増
92	永井 崇, 石塚 修	信州大学医学部附属病院 泌尿器科	【泌尿器がん患者の看護と治療 チャート・ 図解で流れが一目でわかる!】(第7章)精	泌尿器ケア(1349- 6549)2015夏季増
93	永井 崇, 石塚 修	信州大学医学部附属病院 泌尿器科	【泌尿器がん患者の看護と治療 チャート・ 図解で流れが一目でわかる!】(第7章)精	泌尿器ケア(1349- 6549)2015夏季増
94	永井 崇, 石塚 修	信州大学医学部附属病院 泌尿器科	【泌尿器がん患者の看護と治療 チャート・ 図解で流れが一目でわかる!】(第7章)精	泌尿器ケア(1349- 6549)2015夏季増
95	永井 崇, 石塚 修	信州大学医学部附属病院 泌尿器科	【泌尿器がん患者の看護と治療 チャート・ 図解で流れが一目でわかる!】(第7章)精	泌尿器ケア(1349- 6549)2015夏季増
96	松田 和之	信州大学医学部附属病院 臨床検査部遺伝子・染色体	技術講座 血液・遺伝子・染色体 シリーズ 造血器腫瘍の診療を支える遺伝子・染色	検査と技術(0301- 2611)43巻9号
97	下村 陽子	信州大学医学部附属病院 看護部	【プロの看護補助者の育成 最高の協働体 制を築くために】看護補助者が看護チーム	看護展望(0385- 549X)40巻10号
98	宮城 芳江	信州大学医学部附属病院	【予測力を磨いて呼吸器看護に強くなる!呼 吸器疾患の重症化を防ぐアセスメント&ケ	呼吸器・循環器達 人ナース36巻4号
99	橋本 幸始, 上條 祐司, 神應 裕	信州大学医学部附属病院 腎臓内科	【糖尿病と腎疾患2015】症例からみる諸問 題 糖尿病性腎症患者におけるバスキュ	腎と透析(0385- 2156)78巻増刊
100	川崎 健治, 末吉 茂雄, 平木 一	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	Caの測定精度に影響する純水の調査 関 東甲信地区臨床検査施設の純水製造装置	医学検査(0915- 8669)64巻3号

101	加藤 勇太	信州大学医学部附属病院 臨床栄養部	現場に生かす「日本人の食事摂取基準 (2015年版)」(第4回) アセスメント	日本栄養士会雑誌 (2187-4476)58巻7
102	関口 健二	信州大学医学部附属病院 総合診療科	症例から学ぶ地域医療教育の肝 医学的 視点から生活機能的視点へ	ジェネラリスト教育コ ンソーシアム7巻
103	新井 慎平, 菅野 光俊, 本田 孝	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	胆管癌および深部静脈血栓症を伴う続発 性クリオフィブリノゲン血症の解析	臨床病理(0047- 1860)63巻4号
104	加藤 勇太	信州大学医学部附属病院 臨床栄養部	現場に生かす「日本人の食事摂取基準 (2015年版)」(第3回) 本質を理解する	日本栄養士会雑誌 (2187-4476)58巻6
105	中村 昭則	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	【骨格筋症候群(第2版)-その他の神経筋疾 患を含めて-】[上] 筋ジストロフィーおよび	日本臨床(0047- 1852)別冊骨格筋
106	中村 昭則	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	【骨格筋症候群(第2版)-その他の神経筋疾 患を含めて-】[上] 筋ジストロフィーおよび	日本臨床(0047- 1852)別冊骨格筋
107	井出 裕一郎	信州大学医学部附属病院 臨床検査部	臨床検査のピットフォール キメラ遺伝子検 出のためのFISH法のピットフォール-検査	検査と技術(0301- 2611)43巻7号
108	松田 和之	信州大学医学部附属病院 臨床検査部遺伝子・染色体	技術講座 血液・遺伝子・染色体 シリーズ 造血器腫瘍の診療を支える 遺伝子・染色	検査と技術(0301- 2611)43巻7号
109	宮城 芳江	信州大学医学部附属病院 看護部	【ナースもうれしい患者説明シート付き!呼 吸器ケアの疾患・検査・治療 はや調べ	呼吸器ケア(1347- 7285)2015夏季増
110	飯田 英明	信州大学医学部附属病院 集中治療部	【ナースもうれしい患者説明シート付き!呼 吸器ケアの疾患・検査・治療 はや調べ	呼吸器ケア(1347- 7285)2015夏季増
111	塩沢 世志子	信州大学医学部附属病院 手術部	【もう焦らない!困らない!先輩のワザを学ぶ! 新人ナースのための器械出しはじめの一	オペナーシング (0913-5014)30巻5
112	塩沢 世志子	信州大学医学部附属病院 手術部	【もう焦らない!困らない!先輩のワザを学ぶ! 新人ナースのための器械出しはじめの一	オペナーシング (0913-5014)30巻5
113	塩沢 世志子	信州大学医学部附属病院 手術部	【もう焦らない!困らない!先輩のワザを学ぶ! 新人ナースのための器械出しはじめの一	オペナーシング (0913-5014)30巻5
114	長谷川 陽子, 塩 原 真弓, 中西	信州大学医学部附属病院	二交代制勤務に従事する女性看護師の主 観的睡眠感と蓄積的疲労の関係に関する	日本看護学会論文 集: 看護管理
115	本田 秀夫	信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部	【子どもと若者のための認知行動療法】認 知行動療法が効いたのか?それとも、その	精神療法(0916- 8710)41巻2号
116	福島 和広, 池田 修一	信州大学医学部附属病院 難病診療センター	【脊椎脊髄の冠名徴候・症候群】 冠名症 候群 Parsonage-Turner症候群	脊椎脊髄ジャーナ ル(0914-4412)28巻
117	浜野 英明	信州大学医学部附属病院 医療情報部	【医療安全-最新ITの有効性を検証する】 活用効果を臨床面から実証する 医療安	新医療(0910- 7991)42巻4号
118	村木 崇, 川 茂 幸	信州大学医学部附属病院 消化器内科	【これだけは知っておきたい検査のポイント -第9集】 血液生化学検査など 酵素,肝機	Medicina(0025- 7699)52巻4号
119	村木 崇, 川 茂 幸	信州大学医学部附属病院 消化器内科	【これだけは知っておきたい検査のポイント -第9集】 血液生化学検査など 酵素,肝機	Medicina(0025- 7699)52巻4号
120	石田 文宏	信州大学医学部保健学系 病因・病態検査学, 信州大	NK細胞腫瘍の診断と治療における最近の 進歩	臨床血液 Vol. 56 (2015) No. 6 p.

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 ① 「臨床研究に関する標準業務手順書」・・・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、国立大学法人信州大学医学部・附属病院における研究者が主導して行う人を対象とする医学系研究の実施に必要な手続きと運営に関する手順を定めている。 ② 「倫理審査申請の手順」・・・倫理審査申請から承認、研究の実施までの流れを定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回 (適宜)

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1～2回
・ 研修の主な内容 倫理委員に対する講習会の開催、研究者に対する教育倫理に関する講習会の開催、CITI Japanのe-learning受講による教育研修 (研究者・倫理委員は受講修了が必須)	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内科学（１）（呼吸器・感染症内科）大学院・専門医コース，呼吸器専門医・感染症専門医コース，消化器（肝・胆膵・消化管）専門医コース，血液内科専門医コース，腎臓・透析専門医コース，神経内科専門医コース，リウマチ・膠原病内科専門医コース，脳神経内科学大学院コース，リウマチ・膠原病内科大学院コース，大学院・研究コース，臨床コース，一般循環器内科コース，循環器内科サブスペシャリティ取得コース，大学院・研究コース，一般精神医学コース，大学院・研究コース，精神科サブスペシャリティ取得コース，小児科専門医コース，一般皮膚科コース，大学院・研究コース，皮膚科サブスペシャリティ取得コース，放射線科専門医コース，放射線診断専門医コース，放射線治療専門医コース，外科コース，一般整形外科コース，大学院・研究コース，整形外科サブスペシャリティ取得コース，脳神経外科専門医コース，泌尿器科コース，眼科専門医コース，一般産婦人科医学コース，研究コース，産婦人科サブスペシャリティ取得コース，麻酔科専門医コースその１（卒後臨床研修２年終了後、大学院・学位取得），麻酔科専門医コースその２（卒後臨床研修２年終了後、大学院・関連病院間連携），形成外科専門医コース，一般救急・集中治療医コース，大学院・研究コース，病理・検査専門医コース，臨床遺伝専門医コース，精神科サブスペシャリティ取得コース，がんプロ養成基盤推進プラン（大学院・専門医コース），腫瘍内科・放射線治療専門医コース，がん治療短期研修コース

2 研修の実績

研修医の人数	76人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症 ・アレルギー内 科	教授	26年	
田中 榮司	消化器内科	教授	37年	
中澤 英之	血液内科	助教	13年	
上條 祐司	腎臓内科	診療教授	21年	
池田 修一	脳神経内科	教授	37年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌 代謝内科	教授	29年	
池田 宇一	循環器内科	教授	37年	
鷺塚 伸介	精神科	教授	21年	
小池 健一	小児科	教授	40年	
奥山 隆平	皮膚科	教授	26年	
角谷 眞澄	放射線科	教授	38年	
宮川 眞一	消化器外科 移植外科 小児外科	教授	33年	
岡田 健次	呼吸器外科	教授	27年	
伊藤 研一	乳腺・内分泌外 科	教授	27年	
加藤 博之	整形外科	教授	36年	
本郷 一博	脳神経外科	教授	37年	

石塚 修	泌尿器科	教授	31年	
村田 敏規	眼科	教授	29年	
宇佐美 真一	耳鼻いんこう科	教授	34年	
塩沢 丹里	産科婦人科	教授	29年	
川眞田 樹人	麻酔科蘇生科	教授	29年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容： 緩和ケアセミナー・研修の期間： 平成27年9月12日（土）～13日（日）・実施回数： 1回・研修の参加人数： 総数55名 内、医師・歯科医師以外の医療従事者数 4名
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容： がんのリハビリテーション研修会・研修の期間： 平成27年11月14日（土）～15日（日）・実施回数： 1回・研修の参加人数： 70名

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 本郷 一博	
管理担当者氏名	副病院長 (事務担当) 中島 一浩 総務課長 丸田 由男 経営管理課長 内川 俊行 医事課長 花立 久雄 医療支援課長 藪原 公德	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	診療録管理室
		処方せん	
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課
		高度の医療の研修の実績	医学部
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	経営管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医事課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	※経過措置の適用
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	※経過措置の適用
		監査委員会の設置状況	※経過措置の適用
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	※経過措置の適用
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部
職員研修の実施状況	※経過措置の適用		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	※経過措置の適用		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 本郷 一博		
閲覧担当者氏名	副病院長（事務担当） 中島 一浩 総務課長 丸田 由男 経営管理課長 内川 俊行 医事課長 花立 久雄 医療支援課長 藪原 公德		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要 閲覧希望者より申請が有った際には、総務課にて記録を閲覧させている。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全管理に関する基本的な考え方医療安全管理のため組織に関する基本的事項医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針医療事故発生時の対応に関する基本方針医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針患者からの相談への対応に関する基本方針その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">設置の有無 (有)開催状況：年 1 2 回活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療事故の防止対策の検討及び推進、並びに再発防止策の提言医療事故防止のための教育及び研修に関する事項死亡例及びインシデント事例の報告状況の確認及び指導医療事故防止マニュアルの改訂各委員会などへの指導と連携 (輸血療法委員会、病院情報システム委員会、医療用電子機器管理センター会議、医薬品情報管理室との連絡会議、など)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全の基本的知識と院内マニュアル周知医療安全の基本的考え方と具体的対策超音波ガイド下中心静脈穿刺の講義と実技AEDを用いた一次救命処置 (BLS) の講義と実技院内急変時シミュレーション院内自殺の防止について薬剤管理 麻薬の取り扱い・抗がん剤について転倒・転落防止のためにできること医療現場における苦情の発生と対応について事例検討会 (R C A 分析・M&Mカンファレンス手法)講演会「医療現場における患者の権利擁護について」D V D 研修情報的セキュリティとシステム運用	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全管理室ニュースによる注意喚起と周知徹底及びWEBでの周知転倒・転落 無断離院のポスターを作成し院内周知。院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介 (情報共有) による注意喚起各部署の医療安全に係わる改善・対策プランを部署医療安全管理者会議で周知徹底する医薬品情報管理室や医療用電子機器管理センターとの連携による安全管理の徹底インシデント報告の中の重要事例について院内ラウンド・現状を調査し部署を巻き込み、マニュアルやルールを作成する (患者誤認ポスタ	

一作成・術前マーキングマニュアルの修正及び周知・分食札の作成・
重症事例におけるM&Mカンファレンスの開催)
院内ラウンドによる安全管理状況の確認及び指導
など

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 医療関連感染対策に関する基本的な考え方 感染制御室運営委員会の設置 医療関連感染対策に関する職員研修 医療関連感染発生時の対応 医療関連感染対策ガイドライン 患者等に対する当該指針の閲覧および情報提供と説明に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 抗菌薬使用動向 JANIS検査部門還元情報報告 医療関連感染に関する啓発および職員研修の企画 感染制御室内規、医療関連感染ガイドライン等の改訂について アウトブレイク事象についての対応、職員への周知 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）について 医療関連感染サーベイランスについて 院内ラウンド報告、改善活動 その他感染管理に関する事項の検討、決定	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者・中途採用者・復帰者 手指衛生トレーニング：新入職看護師 感染症対策、環境整備、空気感染対策（N95マスクフィットテスト）、冬期の感染症予防（インフルエンザ・ノロウイルス）：全職員 外部講師を招いた講演会「海外渡航前に知っておきたい感染症予防の考え方」：全職員 結核の診断、抗菌薬の使い方、敗血症、針刺し損傷とその対応、C型肝炎治療、かぜの考え方：研修医 その他、リンクスタッフ・外部委託職員対象の研修会	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (有)その他の改善のための方策の主な内容： 医療関連感染サーベイランスの実施とフィードバック アウトブレイク対応 ICTラウンドおよび環境ラウンドの実施：コンサルテーション、フィードバック、改善報告の確認 職員の血液・体液曝露サーベイランスの実施、情報提供 患者又は家族へ感染に関わる情報を提供、共有し、理解を得た上で協力を求める	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 医療安全職員研修（薬剤管理）「これだけは知っておきたい！医薬品安全管理のための基本事項」9月8日、9月30日の2回の研修を実施した。（平成27年度） 医療安全職員研修（薬剤管理）「ハイリスク薬について・麻薬の取り扱いについて」9月13日、9月28日の2回の研修を実施した（平成28年度）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有)業務の主な内容： 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 保険調剤薬局との連携 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有)その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 (メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理者会議にて冊子を案内・配布している。) 医薬品情報管理室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的（月1回）な連絡会議開催 (院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じる) 院内での医薬品副作用報告体制の整備 (電子カルテシステムから副作用報告を可能とし、報告体制の整備、周知をおこなった。)	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年37回
・ 研修の主な内容： 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺および補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置）の研修 AED等必要な機器の研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： 年1回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は副病院長（危機管理担当）が担っており、同時に医療安全管理部門の責任者及び医療安全管理委員長となっている。 また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、医療安全管理委員会の構成員となっている</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>手順書に基づく業務の実施状況の確認として、病棟ラウンド、病棟薬剤師と看護師による点検を行い、不十分な点は改善し、改善の確認を行っている。また、月 1 回の医薬品情報管理室と医療安全管理室による連絡会議では、院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じている</p> <p>薬事委員会において、副作用症例報告、医薬品医療機器等安全性情報の周知を行っている</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>把握方法を手順書に定め、使用状況と適正使用の状況について薬剤部主任会議等で報告を受けている</p> <p>・担当者の指名の有無（有）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>インフォームド・コンセントを取得すべき範囲、実施時の説明内容その他の留意事項、診療録への記載内容、説明の対象者及び同席者、緊急時のインフォームド・コンセントの手順等</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・活動の主な内容：</p> <p>電子化前の診療録の閲覧・貸出、診療録の点検、紙媒体記録のスキャナ読み取り、疾病分類および統計等</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従（３）名、専任（２）名、兼任（７）名</p> <p style="text-align: center;">※専任事務職員１名、兼任事務職員１名を含む</p> <p>うち医師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（５）名</p> <p>うち薬剤師：専従（０）名、専任（１）名、兼任（０）名</p> <p>うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（１）名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定</p> <p>医療事故発生時における記録等の確認及び指導並びに患者家族への対応状況の確認及び指導</p> <p>医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項</p> <p>医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること</p> <p>医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること</p>	
<p>⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況</p> <p style="color: red;">※経過措置の適用により、様式８「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照</p>	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況
 ※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況
 ※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

有・無

- ・監査委員会の開催状況：年 回
- ・活動の主な内容：
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 121 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 68 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療安全管理部門に報告された事象の確認
 - 適切に報告されているかの確認及び報告が不十分な場合の指導

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

※経過措置の適用により、様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ））・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ））・無）
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
 - （設置状況等）
 - 窓口の名称 医療安全相談室（「医療安全相談室」を窓口に明記）
 - 相談日及び相談時間帯 平日 8：30～17：15（相談依頼者の意向を考慮）
 - 責任者の氏名及び職種 本郷一博：病院長
 - 対応職員の氏名、部署及び職種 村井孝至：医事課長補佐 大木晃：医療支援課主査
高山由美：医療支援課主査 山田なおみ：医療支援課係員
進士君枝：特任研究員
 - 規約の整備状況 有、平成 26 年 12 月 4 日 改正
 - （活動状況等）
 - ・患者等への明示方法
 - 各診療科外来、各病棟及び部門等の掲示板で明示
 - 「外来診療案内」及び入院案内「入院のしおり」にて紹介
 - ・相談により患者等が不利益を受けないよう適切な配慮の具体的方策
医療安全相談室（個室）で相談

対応者は客観的・中立的な立場を遵守

相談後の対応は患者等の意向を尊重

- ・ 電話、投書箱、インターネット相談の実施など相談窓口以外の相談の受付方法

※電話相談の有無、患者からの意見等の投書箱の設置の有無及び設置場所並びにカ所数、インターネットでの相談の有無を記入のこと。

電話相談 有

投書箱 設置場所：外来ホール1階、病棟1階から8階、精神科病棟内 計10カ所

インターネット相談 無

- ・ 解決策及び院内での対応方法

相談事例は病院長へ報告

必要に応じて医療安全管理室会議に報告・審議

関係部署と協議、必要に応じて患者等へ報告

- ・ 患者等へのセカンドオピニオン選択肢の推進（有）及び受入（有）

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）

・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有）

- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）

⑭ 職員研修の実施状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・ 研修の実施状況

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・ 研修の実施状況

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年2月審査 平成26年5月評価の認定（更新）	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院や各診療部署にホームページを公開し、様々な情報を発信している。 地域住民などを対象とする市民公開講座や研修会を毎年開催している。 大学医学部に設置された地域保健推進センターと連携して、地域住民を対象とした研修や、啓発活動を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 信州がんセンターは、化学療法、放射線治療および緩和医療の専門医を終結し、集学的かつ臓器横断的ながん診療をおこなっている。また信州がんセンターが中心となって、月に1回がん診療に携わる各診療科医師や医療スタッフが参集しカンサーボードを実施している。 先端心臓血管病センターおよび呼吸器センターは、それぞれ内科、外科が連携して先端医療を提供している。 胸痛センターは、高度救命救急センターと心臓血管外科が連携して循環器救急医療を提供している。	

(様式第 8)

信大病総第 6 1 3 7 号
平成 2 8 年 9 月 8 日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人信州大学
開設者名 学長 濱田州博 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

平成 28 年 8 月 4 日付けで整備済み

危機管理を担当する副病院長を医療安全管理責任者として配置した。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

医薬品業務手順書の見直しを行い、平成 28 年 9 月までに体制を整える。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

平成 28 年 8 月 4 日付けで整備済み

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

平成 28 年 8 月 4 日付けで整備済み

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

平成 28 年 9 月 8 日付けで整備済み

6. 規則第 9 条の 23 第 1 項第 10 号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

平成 28 年 7 月 7 日付けで整備済み

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

当該窓口は、既存の大学法人本部の内部通報窓口とし、窓口及びその使用方法について平成 28 年 9 月中に全職員へ周知する。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

- ・医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握に関して、具体的な手順等を検討中であり、平成29年3月までに整備予定である。
- ・従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関しては、既に職員の医療安全研修受講状況についてのモニタリングを平時から行っている。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

現在検討中であり、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の整備と併せて平成29年3月までに設置予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

10月以降に関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入に当たっての基本的な考え方」等を参考にし、平成29年3月までに規程を整備する予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

現在検討中であり、平成29年1月を目途に当該部門を設置予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

現在検討中であり、平成 29 年 1 月を目途に部門の設置と併せて規程を整備する予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

現在検討中であり、平成 29 年 1 月を目途に監査委員会を設置予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

今後、厚生労働省から示されると説明があった立入り及び受入れの方法、内容を参考に来年度から行う予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

- ・ 医療法施行規則第九条の二十三第 1 項第二号、第六号及び第十号については実施済み。
- ・ その他の各号については、具体的な方法について検討中である。
- ・ 監査委員会からの意見の表明があった場合における当該意見に関する事項についての研修に関しては、監査委員会の設置にあわせて具体的な手順を検討する。
- ・ e-learning の活用については、具体的な方法について検討中である。

以上について、平成 29 年 3 月までに整備予定である。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施を予定している研修に、来年度から参加させる予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・ 所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（7）名
- うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（5）名
- うち薬剤師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（0）名
- うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名

※ 兼任7名には事務1名を含む

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

専従の医師及び看護師については既に配置済みであるが、専従の薬剤師については未配置であり、現在検討中である。平成30年3月までには配置予定。